

【第1号議案・令和4年度事業報告書】

令和4年度
第71期事業報告書
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

一般社団法人 中部地区医師会

一般社団法人 中部地区医師会 令和4年度事業報告書

昭和28年(1953年)7月13日の中部地区医師会設立以来、昭和63年に中部地区医師会館・検診センターを開設し、平成7年訪問看護ステーション、平成16年訪問介護事業、平成20年ぐしかわ看護専門学校、更に本会の関連会社として平成24年中部システムサポート、平成27年中部スタッフサポート、令和2年に看護小規模多機能居宅介護ナーシングケアハウスやえしまを設立し、本会は、着実に事業を発展させてまいりました。組織の拡大とともに本会の社会的責任もますます大きくなることを自覚し、今後も会員と共に学術団体としての医師会活動はもとより、県や市町村、関係団体と密接な連携をとり、地域に密着した活動を通じて、地域住民の皆様の健康を守り、安全・安心な医療・保健・介護・福祉を支える役割を担って参りたいと考えております。コロナ禍の中において令和4年度医師会事業として実施した主なものは下記の通りとなっております。

《医師会会務運営》

一般社団法人の基準に沿った事業計画書及び予算書を作成し「継続事業1.2.3」と「その他事業1.2.3.4」に分け、コロナ禍の影響で中止、延期となった事業もありましたがコロナ対策に向け職員一同総力を挙げ対応いたしました。また、会員との連携・情報交換、行政や関係団体と連携した体制をもって法令や社会ルール等を遵守し、地域医療・保健・介護・福祉への継続的な貢献を続けることを目的として、令和4年6月より中部地区医師会コンプライアンス体制を構築いたしました。これにより、医師会職員の教育・研修の充実を図り、高い倫理観を持って誠実、公正に行動し、社会から信頼される医師会として、発展し続けるよう努力いたします。

【令和4年度・定期総会】

日時：令和4年6月24日(金) 19時30分～21時
場所：中部地区医師会館 3階ホール(WEB併用)
議案：第1号議案：令和3年度事業報告書について
第2号議案：令和3年度決算報告書について

【令和4年度・臨時総会】

日時：令和5年3月17日(金) 19時30分～21時
場所：中部地区医師会館 3階ホール
議題：第1号議案：医師会運営規定の一部改正について(案)
第2号議案：令和5年度事業計画書(案)
第3号議案：令和5年度収支予算書(案)

【理事会・関連委員会・その他】

中部地区医師会定例理事会(毎月2回/第2・第4金曜日/19:00/3階ホール)
医師会職員管理者会議(毎月2回/第2・第4月曜日/16:00/3階ホール)
4/9 第53回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会施設長会/17:00/WEB会議
6/15 監事監査/19:30/3階会議室(祝嶺千明・小橋川啓・涌波満・松嶋顕介)

6/20 評議員会/19：30/3階レストラン（三役・評議員）

7/9 第53回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会「WEB開催併用」

/ホテル日航大分（中田安彦）

※本会より1名の発表（WEB参加）

発表者：中部地区医師会 副会長 松嶋顕介

演題：CVS-CMとCORONA BUSTER CHUBUの展開

7/19 第1回コンプライアンス委員会/19：00/3階ホール（今井千春・兼城真理子）

9/7 裁定委員会/19：00/3階レストラン（松嶋顕介）

10/19 第2回コンプライアンス委員会/19：00/3階ホール（今井千春・兼城真理子）

11/20 中部地区医師会勤続10年医療従事者表彰式典/19：00/NBC（三役）

12/8 中部地区医師会年末懇親会/19：00/ラグナガーデンホテル（三役・理事）

2/8 第3回コンプライアンス委員会/19：00/3階ホール（今井千春・兼城真理子）

3/8 評議員会/19：30/3階レストラン（三役・評議員）

3/16 地区医師会会長会議/19：00/沖縄県医師会（中田安彦）

1. 令和4年度新型コロナウイルス感染症関連の事業について

（担当理事：渡慶次 理事）（副担当：松嶋 副会長）

令和元年12月以降、中国の湖北省武漢市において、新型コロナウイルス感染症の発生が複数報告されて以来、ウイルスは変異を繰り返し、今なおその脅威は世界中を襲い、沖縄県においても感染症流行に伴い、未曾有の医療状況の悪化、社会変動と経済的損失にみまわれましたが、当会は会員と共に以下の事項を取り組みました。

① 中部地区医師会 WEB サイトについて

新型コロナウイルス感染症のPCR検査までの問題点として浮き彫りとなった、地域住民が医療機関で国の判断基準からPCR検査が受けられない、保健所や沖縄県コロナ対策本部と連絡がつかない、PCR検査を受けたいがどこの医療機関で受けられるかわからない等、多くの課題を抱える中、これらの課題を解決すべく、令和2年8月3日より「中部地区医師会 WEB サイト」を開設し新型コロナウイルス感染症を疑う方をPCR検査が必要かどうか、患者自身が事前に自覚症状などを入力し、効率的に医療機関を紹介するシステムを構築いたしました。現在、68施設がPCR検査・抗原検査を行える診療検査医療機関として公表しております。当サイトの令和5年3月31日時点で25万8888回のアクセス数があることから、中部保健所や沖縄県コロナ対策本部の業務負担軽減に大いに寄与したと考えており、会員や関係各位より高い評価を頂いております。

【内訳】

68施設がPCR、抗原検査等が行える診療・検査医療機関（令和5年度より外来対応医療機関）68施設のうち25施設が医師会 WEB サイトで公表中

② 検診センター臨床検査室のPCR検査について

医師会 WEB サイト構築後、令和2年8月3日より、PCR検査については検診センター検査室より再外注先としてAVSSを利用しておりました。検査室内で検査を行うためには、検査機器の整備や検査室の改築が必要となりました。検査機器は沖縄県より補助を受け整備することができ、また、検査室内の改築費用については、沖縄県医師会より補助を受けることができましたので、

令和2年10月12日より検診センター検査室内でPCR検査を行ってまいりました。
 検査開始より累計102,755件（R5/3/31迄）の検査を受託し、陽性者は26,767件となっております。（陽性率26.0%）。
 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が、令和5年5月8日より5類に移行いたしました
 が、検査体制につきましては集荷体制を縮小した上で継続してまいります。

③ 新型コロナウイルス感染症対策ポータルサイト「コロナバスター中部」

本会では、新型コロナウイルス感染症対策についての医療機関・行政間における情報伝達、更には地域の皆様からの様々なお問合せや感染予防対策に対しての情報を一元的に対応するため、中部市町村会の協力を得て、総合対策ポータルシステム「コロナバスター中部」を令和2年度に開設致しました。令和5年4月までに423,330件のアクセスがあり、地域住民の皆様へ新型コロナウイルス感染症対策の一助になったのではないかと思います。

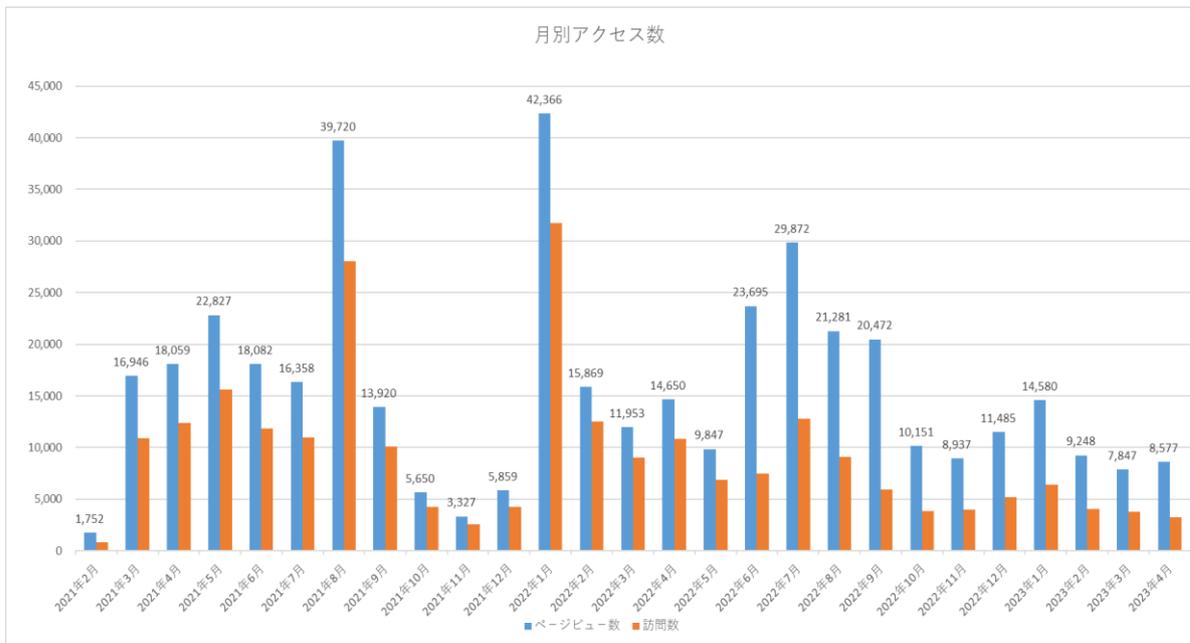
令和5年5月8日からの新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、その運用については他事業での活用も含めて検討して参ります。

※コロナバスター中部 <https://cccn.gr.jp/>



【コロナバスター中部アクセス数：R3/2月～R5/4月】

	ページビュー数	訪問数
2021年2月	1,752	802
2021年3月	16,946	10,873
2021年4月	18,059	12,368
2021年5月	22,827	15,597
2021年6月	18,082	11,830
2021年7月	16,358	10,933
2021年8月	39,720	28,056
2021年9月	13,920	10,116
2021年10月	5,650	4,232
2021年11月	3,327	2,565
2021年12月	5,859	4,265
2022年1月	42,366	31,742
2022年2月	15,869	12,541
2022年3月	11,953	9,006
2022年4月	14,650	10,802
2022年5月	9,847	6,870
2022年6月	23,695	7,444
2022年7月	29,872	12,770
2022年8月	21,281	9,069
2022年9月	20,472	5,950
2022年10月	10,151	3,853
2022年11月	8,937	4,003
2022年12月	11,485	5,211
2023年1月	14,580	6,408
2023年2月	9,248	4,023
2023年3月	7,847	3,777
2023年4月	8,577	3,228
計	423,330	248,334



④ 新型コロナワクチン接種の推進

1) 集団予防接種について

中部地区では医療施設の偏在もあり、各市町村所在地の医療施設のみでは対応が困難なことも予想されます。中部地区を一つの地域ととらえ、中部地区医師会では各市町村の集団接種会場へ接種チームを動員するタスクフォース中部の構築を令和2年度より進めてまいりましたが、令和4年度においても各医療機関の医師、看護師へご協力いただきながら、各市町村と連携を強化し円滑に取り組みました。また、小児に関しては、令和4年度新一年生（6歳）を対象に中部7市町村（沖縄市・うるま市・宜野湾市・北谷町・嘉手納町・読谷村・北中城村）と協力し、合同による集団予防接種を令和4年4月3日（日）イオンモール沖縄ライカムにて実施いたしました。接種者数は7市町村で216名となり、実施にあたっては、うるま市・読谷村のまちキャラの配置、バルーンアーティストによるバルーン装飾の設置と配布、経過観察ブースでのDVD（アニメ）上映をおこない、子どもたちが安心して接種できる環境を構築いたしました。

※令和4年度は中部6市町村が集団予防接種を行い、実績（初回1回目、2回目、追加3回目）は75,433回となっております。

2) 個別予防接種について

5月19日時点、基本型（22施設）、サテライト型（116施設）、合計138の施設で個別予防接種を進めており、引き続き個別予防接種実施の拡充を推進していきます。

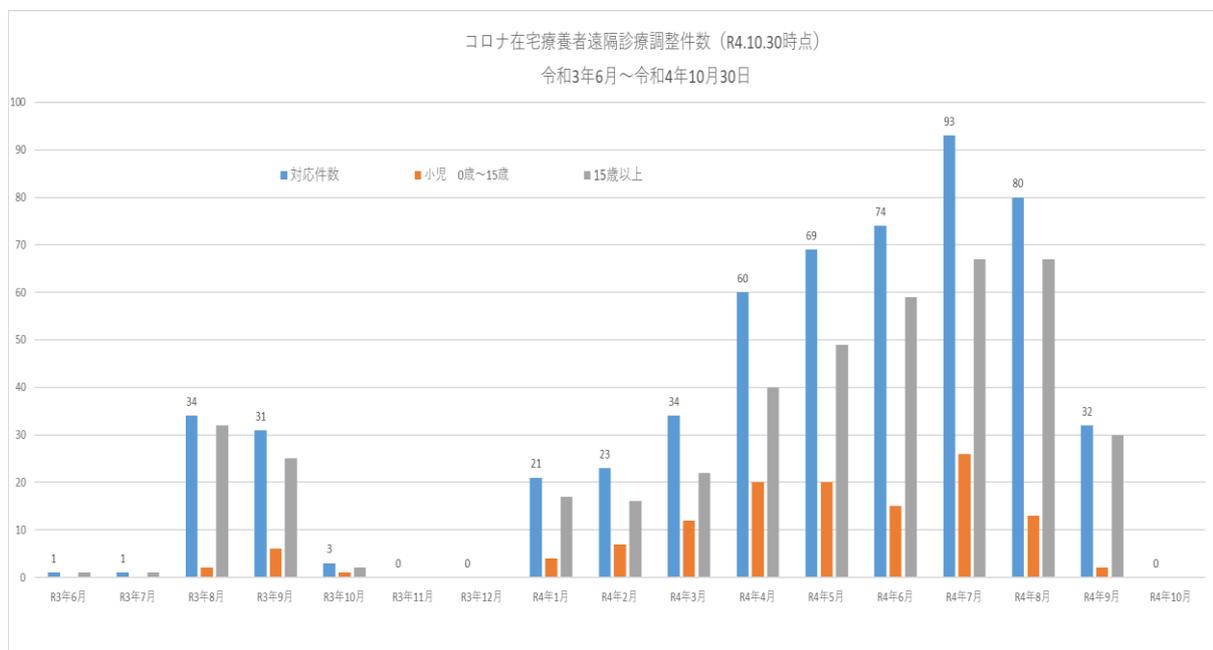
沖縄市（41施設）/宜野湾市（23施設）/うるま市（29施設）/嘉手納町（2施設）
西原町（16施設）/北谷町（8施設）/北中城村（4施設）/中城村（8施設）
読谷村（7施設）

- 3) コロナ自宅療養者に対する在宅医療（遠隔診療）ならびに高齢者施設療養者支援について
新型コロナウイルス感染症の感染者増加に伴い、自宅療養者への在宅医療提供のため、令和3年6月に沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部へ専任チームが設置されました。沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部より地区医師会へ遠隔診療依頼があり、病院・

クリニックへ遠隔診療（電話診療）の依頼をおこない対応して頂きましたが、令和4年10月30日をもって県からの委託契約が終了し、11月からは県コロナ対策本部にて実施されることとなりました。総対応件数は556件となり、小児（0歳から15歳）が128件、15歳以上が428件となっております。

また、高齢者施設等における療養者につきましても、その患者のかかりつけ医、あるいは施設嘱託医等での対応が困難な場合において、訪問在宅診療を実施していただいている会員施設（10施設）の先生方へ、施設の診療についてご協力を賜り、療養者支援を実施いたしました。

	対応件数	小児 0歳～15歳	15歳以上
R3年6月	1	0	1
R3年7月	1	0	1
R3年8月	34	2	32
R3年9月	31	6	25
R3年10月	3	1	2
R3年11月	0	0	0
R3年12月	0	0	0
R4年1月	21	4	17
R4年2月	23	7	16
R4年3月	34	12	22
R4年4月	60	20	40
R4年5月	69	20	49
R4年6月	74	15	59
R4年7月	93	26	67
R4年8月	80	13	67
R4年9月	32	2	30
R4年10月	0	0	0
計	556	128	428



⑤ 関連会議、委員会、研修会、その他

4/1 新型コロナワクチン小児接種における講習会 19:00/沖縄県医師会

4/22 新型コロナウイルス感染症対策に係る関係病院長会議

19:00/沖縄県医師会（WEB 併用）

- 6/20 第1回新型コロナウイルス感染症と一般診療における感染対策等研修会について
19:00/沖縄県医師会 (WEB 併用)
- 7/21 新型コロナウイルス感染症対策に係る地区医師会及び関係者連絡会議
19:00/沖縄県医師会
- 8/9 第2回医療機関を対象としたサル痘の研修会 17:00/沖縄県医師会 (WEB 開催)
- 8/23 第2回新型コロナウイルス感染症と一般診療等に関する研修会
19:00/沖縄県医師会 (WEB 併用)
- 9/20 地区医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡会議
19:00/沖縄県医師会 (WEB 併用)
- 9/22 With コロナの新たな段階への移行に向けた全数届出の見直しに関する説明会
19:00/沖縄県医師会 (WEB 併用)
- 10/13 第3回新型コロナウイルス感染症と一般診療等に関する研修会
19:00/沖縄県医師会 (WEB 併用)
- 11/2 第1回新型コロナウイルス感染症医師向け勉強会 (意見交換会)
19:00/沖縄県医師会 (WEB 開催)
- 11/2 施設等クラスター発生時の支援に関する調整会議 18:00/中部徳洲会病院
- 11/9 新型コロナウイルス感染症後遺症対応に関する研修会
19:00/沖縄県医師会 (WEB 併用)
- 11/10 乳幼児を対象とした新型コロナワクチン接種体制構築に係る関係者会議
19:00/沖縄県医師会
- 11/16 第2回新型コロナウイルス感染症医師向け勉強会 (意見交換会)
19:00/沖縄県医師会 (WEB 開催)
- 11/29 新型コロナウイルス感染症地区医師会及び関係者会議
19:00/沖縄県医師会 (WEB 開催)
- 11/30 第3回新型コロナウイルス感染症医師向け勉強会 (意見交換会)
19:00/沖縄県医師会 (WEB 開催)
- 12/14 第4回新型コロナウイルス感染症医師向け勉強会 (意見交換会)
19:00/沖縄県医師会 (WEB 開催)
- 12/20 「沖縄県クルーズ船受入中部地域協議会」名簿更新の依頼及び国際クルーズ運航の
ための感染拡大予防ガイドラインの説明会
15:30/沖縄産業支援センター (WEB 併用)
- 12/28 第5回新型コロナウイルス感染症医師向け勉強会 (意見交換会)
19:00/沖縄県医師会 (WEB 開催)
- 1/11 第6回新型コロナウイルス感染症医師向け勉強会 (意見交換会)
19:00/沖縄県医師会 (WEB 開催)
- 1/26 沖縄県医師会新型コロナウイルス感染対策講習会 19:00/沖縄県医師会 (WEB 併用)
- 2/1 第7回新型コロナウイルス感染症医師向け勉強会 (意見交換会)
19:00/沖縄県医師会 (WEB 開催)
- 3/1 第8回新型コロナウイルス感染症医師向け勉強会 (意見交換会)
19:00/沖縄県医師会 (WEB 開催)
- 3/7 中部地区作業部会 医師会在宅訪問診療医師との意見交換会 18:30/中部福祉保健所
- 3/22 中部地区感染症ネットワーク会議 18:00/中部福祉保健所
- 3/27 新型コロナウイルス感染症担当理事者会議 19:00/沖縄県医師会 (WEB 併用)
- 3/29 新型コロナウイルス感染症対策に係る関係病院長会議
/19:00/沖縄県医師会 (WEB 併用)

5) 中部地区発熱軽症者抗原検査センターの実施について

新型コロナウイルス感染症の第7波到来の際、中部地区にある重点医療機関（県立中部病院、中頭病院、中部徳洲会病院、ハートライフ病院）の救急外来へ患者が殺到し、救急外来診療が逼迫したことを受け、当会では沖縄県からの依頼により、発熱を伴う軽症者に対して検査を行う抗原検査センターを、会員施設から医師・看護師派遣のご協力を賜り、当会検診センター駐車場に設置し、検査を実施いたしました。

期間は8月11日（木：山の日）から8月28日（日）までの土曜日・日曜日・祝日とし、受付時間を午後6時から午後9時までとすることで、救急外来への発熱患者が増加する週末・祝日の夜間において、重点医療機関の負担軽減に繋がるよう実施いたしました。

受検者数は9日間の実施において380名、その内コロナ陽性者は225名となり、陽性率59%となっております。受検者の内訳としては、85%が中部地区管内でありましたが、南部地域や北部地域からの受検者もあり、また、県外からの観光客の受検も見受けられました。

さらには秋以降の第8波により、再度救急外来の逼迫がおこったことから、年明けの1月14日（土）から2月12日（日）までの10日間、夏の実施と同様、土日祝日の夜間において、当会検診センター駐車場を使用し、コロナと併用しインフルエンザの抗原検査も実施いたしました。インフルエンザについては保険診療によりタミフル・イナビルの処方をおこなっております。

冬の実施においては、受検者数519名、その内コロナ陽性者が68名（陽性率13%）、インフルエンザ陽性者が268名（陽性率52%）、コロナ・インフルの同時陽性者が2名（陽性率1%）となりました。受検者内訳についても75%が中部地区管内となり、夏と同様に南部地区や北部地区からの受検者も見受けられました。

2. 公衆衛生の向上を目的とする事業（継続事業1）

本事業は、児童生徒、地域住民に安全・安心な医療を提供することで地域住民の医療福祉の向上と公衆衛生の向上に寄与することを目的に実施しました。

1) 学校保健対策事業（担当理事：石川 理事）（副担当：古堅 理事）

例年通り、管内9市町村教育委員会及び沖縄県教育委員会から依頼を受け、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校並びに一部私立学校の合計116校へ学校医（110名）・健診協力医（55名）の配置を行いました。また、令和4年度新規学校医・健診協力医になられた先生方へ勉強会を実施いたしました。

【各種委員会・協議会へ推薦】

○令和4年度宜野湾市要保護児童対策地域協議会員/じのーんキッズ安心ネットへ推薦

古堅善亮理事を推薦【任期R4. 4. 1~R5. 3. 31】

【関連委員会・その他】

5/26 じのーんキッズ安心ネット代表者会議/14:00/宜野湾市役所

7/30、7/31 第65回九州ブロック学校保健、学校医大会/沖縄県医師会

【研修会】

4/14 新規配置学校医・健診協力医、学校健診勉強会/19:30/中部地区医師会

講師：今西 康次 先生（じねんこどもクリニック）

2) 予防接種事業の普及促進、感染症対策事業（担当理事：石川 理事）（副担当：渡慶次 理事）

- ① 管内8市町村において行政措置予防接種として実施されているおたふくかぜワクチン予防接種は、未実施である西原町については引き続き協議（要請）した結果、令和5年度より行政措置予防接種となることが決定いたしました。

- ② 平成 27 年度より個別予防接種（小児・高齢者）は、県内の医療機関のどこでも予防接種が受けられるように北部地区医師会、浦添市医師会、南部地区医師会、那覇市医師会との間で相互乗り入れが実現しておりますが、令和 4 年度も同体制を引き続き維持できるよう関係団体と調整を行いました。
- ③ 小児インフルエンザ予防接種（幼児～中学生）につきましては、高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担軽減（沖縄市・北中城村は負担なし）とともに、公費負担化を要請しましたが実現できておりません。引き続き市町村への要望を行ってまいります。
- ④ 高齢者肺炎球菌予防接種は、北谷町、嘉手納町が平成 26 年度から無料で行っており、沖縄市につきましても令和元年度より無料化となりました。令和 4 年度も未実施の自治体に対しては、要望をおこないましたが、公費負担での実施は難しい状況となりました。引き続き公費負担の実現に向け、要望を行ってまいります。
- ⑤ 平成 31 年 4 月に厚生労働省より風しん予防接種を公的に受ける機会がなかった 39～56 歳（1962 年【昭和 37 年】4 月 2 日～1979 年【昭和 54 年】4 月 1 日生まれの男性約 1610 万人）の男性のうち、抗体価が低い（8 倍以下）と判明した人に限り、予防接種法に基づく定期接種の対象とし、令和 6 年度まで公費により無料で予防接種を行う事ができることから、令和 4 年度におきましても市町村、会員施設と連携の基、取り組んでいきました。
- ⑥ 帯状疱疹予防接種について、沖縄県内の市町村では公費助成をおこなっている自治体が未だなく、現状、接種希望者は全額自己負担での接種となっております。接種機会の拡充により、帯状疱疹や神経痛に悩まされる患者が減少することで高齢者医療費の削減にも繋がると期待されることから、管内市町村において市町村長・議会議長宛て公費助成の実現に向けて要望書の提出をおこない、各種委員会で取り上げていただきましたが、令和 5 年度に向けての公費助成は実現できませんでした。引き続き公費負担の実現に向け、管内市町村へ要望を行ってまいります。
- ⑦ 小児（5 歳～11 歳）コロナワクチン接種については、令和 4 年度新一年生（6 歳）を対象に中部 7 市町村（沖縄市・うるま市・宜野湾市・北谷町・嘉手納町・読谷村・北中城村）と協力し、合同による集団予防接種を令和 4 年 4 月 3 日（日）イオンモール沖縄ライカムにて実施いたしました。それ以降については、うるま市・読谷村では成人対象の集団接種会場での受診ならびに個別医療機関での個別接種。その他の市町村では個別医療機関においての個別接種での実施となりました。

【各種委員会への委員推薦】

○中城村予防接種健康被害調査委員会（推薦）【任期：R2. 4. 1～R4. 3. 31】

医師会代表：中田 安彦 会長／石川 隆夫 理事

中城村内医療機関代表：湧田 森明 先生（わくさん内科）

池田 祐之 先生（榕原医院）R2. 4. 1～R4. 2.

羽地 周作 先生（海風クリニック）R4. 3. 1～

○沖縄市予防接種健康被害調査委員会（推薦）【任期：R3. 4. 1～R5. 3. 31】

医師会代表：中田 安彦 会長／石川 隆夫 理事

沖縄市内医療機関代表：仲嶺 文雄 先生（なかみねニュークリニック）

安里 義秀 先生（あさとこどもクリニック）

○読谷村予防接種健康被害調査委員会（推薦）【任期：R3. 4. 1～R5. 3. 31】

医師会代表：中田 安彦 会長／石川 隆夫 理事

読谷村内医療機関代表：祖堅 尚 先生（そけん小児科）

【関連会議・委員会・その他等】

3/1～3/7 子ども予防接種週間

6/22	うるま市第1回予防接種健康被害調査委員会	19:00/うるま市役所
8/19	中城村・西原町第1回予防接種健康被害調査委員会（合同開催）	19:00/中城村役場
9/14	北谷町予防接種健康被害調査委員会	19:00/北谷町役場
9/19	沖縄市第1回予防接種健康被害調査委員会	19:00/沖縄市役所
9/21	宜野湾市第1回予防接種健康被害調査委員会	19:00/宜野湾市役所
11/16	うるま市第2回予防接種健康被害調査委員会	19:00/うるま市役所
3/1	宜野湾市第2回予防接種健康被害調査委員会	19:00/宜野湾市役所
3/15	うるま市第3回予防接種健康被害調査委員会	19:00/うるま市役所
3/20	沖縄市第2回予防接種健康被害調査委員会	19:00/沖縄市役所
3/29	西原町第2回予防接種健康被害調査委員会	19:00/西原町役場

3) 産業保健対策事業（担当理事：兼城賢作 理事）（副担当：道下 理事）

独立行政法人労働者健康福祉機構 沖縄産業保健総合支援センターより委託を受け「中部地域産業保健センター」を設置し、中部地域の従業員50名未満の事業場（事業主）へ、意見書の作成、保健指導、面接指導、情報提供等を行いました。また、ストレスチェック制度を円滑に推進するため関係団体と連携し産業医の先生方に各種情報を提供しました。

【関連委員会・その他】

1/11 令和4年度第1回沖縄県産業医研修連絡協議会/19:00/沖縄県医師会（WEB 併用）
令和4年度産業医部会役員会/20:00/沖縄県医師会（WEB 併用）

4) 学術活動事業（担当理事：古堅 理事）（副担当：兼城真理子 理事）

学術活動として令和4年度も医師の生涯学習の一環として、最新の医療技術各種講演会や研修会をWEB等を用いて開催いたしました。

- ① 各種講演会の開催及び後援
- ② 日本医師会生涯教育自己申告書の取りまとめ

【各種講演会 ※共催又は後援及び日医生涯教育講座】

○日時：令和4年4月28日（木） ～

場所：WEB 配信（ホテルコレクティブ）

座長：中部徳洲会病院 循環器内科部長 比嘉 健一郎 先生

演題：高TG血症の治療意義

演者：南部徳洲会病院 副院長 川満 克紀 先生

○日時：令和4年5月12日（木） 18:30～19:15

場所：NBI 沖縄事業所

座長：かりゆしクリニック 院長 山川 研 先生

演題：「地域で心不全を診ていくために～心不全の予防と早期の治療介入に必要なこと～」

演者：心臓血管研究所 循環器内科 心不全担当部長/心臓リハビリテーション科
担当部長 加藤 祐子 先生

- 日時：令和4年5月26日（木）
 場所：完全オンライン配信（配信会場：C01 那覇ビル 7F）
 座長：アワセ第一医院 浜端 宏英 先生
 演題：「IBD 診療 up date ～亜鉛との関係について～」
 演者：中部徳洲会病院 消化器内科 安部 瞬 先生
- 日時：令和4年6月8日（水） 19：00～19：45
 場所：NBI 沖縄営業所
 座長：まつしまクリニック 院長 松嶋 顕介 先生
 演題：糖尿病と肝疾患～知っておきたい診療のポイント～
 演者：奈良県立医科大学 消化器内科学講座（消化器・代謝内科）教授 吉治 仁志 先生
- 日時：令和4年6月10日（金） 18：50～20：30
 場所：ノボテル沖縄那覇 B1 ルシエル
 座長：浦添総合病院 副院長 仲吉 朝邦 先生
 演題1：沖縄県の肝臓病の疫学的特徴とペマフィブラートの使用経験
 演者：琉球大学病院 第一内科 特命講師 前城 達次 先生
- 座長：ハートライフ病院 院長 佐久川 廣 先生
 演題2：臨床で実感した SPPARM α の有用性と新たな可能性
 ～高中性脂肪血症合併肝疾患治療を中心に～
 演者：国立病院機構九州医療センター 肝臓センター部長 中牟田 誠 先生
- 日時：令和4年6月20日（月） 19：30～21：00
 場所：EM ウェルネス 暮らしの発酵ライフスタイルリゾート（WEB 配信）
 座長：中部徳洲会病院 循環器内科 主任部長・不整脈センター長 大城 力 先生
 演題：最新のガイドラインに基づく治療を実践する上で ARNI の使い方を考える
 演者：小倉記念病院 循環器内科 医長 高麗 謙吾 先生
- 日時：令和4年6月22日（火） 18：50～20：00
 場所：中部地区医師会館
 座長：沖縄県立中部病院 呼吸器内科 部長 喜舎場 朝雄 先生
 演題：かかりつけ医のための間質性肺疾患診療の重要ポイント
 演者：自治医科大学内科学講座 呼吸器内科部門 教授 坂東 政司 先生
- 日時：令和4年6月23日（水） 19：00～19：50
 場所：ラグナガーデンホテル
 座長：恩納クリニック 院長 玉城 徳光 先生
 演題：最新の心不全治療薬
 演者：中部徳洲会病院 循環器内科 部長 比嘉 健一郎 先生
- 日時：令和4年8月5日（金） 19：00～20：30
 場所：ヒルトン沖縄北谷リゾート
 座長：中頭病院 血液腫瘍内科 部長 林 正樹 先生

特別講演Ⅰ：「中部地区における在宅緩和ケアの取り組みについて」

演者：演者：マリン在宅クリニック 院長 小林 孝暢 先生

座長：沖縄県立中部病院 地域診療科 村田 祥子 先生

特別講演Ⅱ：「入院から在宅へとつなげるがん疼痛管理」

演者：中部徳洲会病院 統合麻酔診療部/疼痛治療科/在宅・緩和ケア科 統括部長
服部 政治 先生

○日時：令和4年8月18日（木） 19：00～20：00

場所：沖縄県市町村自治会館 2F「ホール」

名称：沖縄全島高血圧講演会

座長：医療法人麻の会 首里城下町クリニック第一 田名 毅 先生

特別講演：高血圧治療に新たな武器加わる ～期待の薬 エンレスト～

演者：岩国医療センター 循環器内科 医長 田中屋 真智子 先生

○日時：令和4年9月6日（火） 19：00～20：00

場所：WEB 配信 中部地区不眠症診療 Web セミナー

座長：沖縄中央病院 理事長 久場 禎三 先生

演題：『不眠症治療の新展開 ～睡眠薬出口戦略のその先を目指して～』

演者：琉球大学大学院医学研究科 精神病態医学講座 准教授 高江洲 義和 先生

○日時：令和4年9月30日（金） 18：30～20：00

場所：オンライン開催（Zoom） ※配信場所：中部地区医師会2階会議室

座長：医療法人翔南会 翔南病院 循環器内科 部長 与那原 太郎 先生

演題1：心不全治療の地域連携ポイント

演者：沖縄県立中部病院 循環器内科 医長 屋宜 宣仁 先生

座長：沖縄県立中部病院 循環器内科 部長 和氣 稔 先生

演題2：心不全診療の現状と将来展望 ～ベルイシグアトへの期待～

演者：九州大学病院 冠動脈疾患治療部 診療准教授 井手 友美 先生

○日時：令和4年10月26日（水） 19：00～20：30

場所：リモート配信（※配信場所：EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート）

座長：医療法人安心会 愛聖クリニック 院長 中田 安彦 先生

LECTURE：慢性心不全診療の現状と取り組み ～当院における SGLT2 阻害薬の使用経験～

演者：社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 循環器内科 部長 仲村 義一 先生

座長：沖縄県立中部病院 循環器内科 部長 和氣 稔 先生

SPECIAL LECTURE：最新の心不全治療戦略を踏まえた連携医療

演者：東海大学医学部付属病院 循環器内科 講師 伊地知 健 先生

○日時：令和4年11月18日（金）19：00～20：00

場所：オンライン開催（Web と集合視聴のハイブリッド開催）

※配信場所：すながわ内科クリニック ※集合視聴場所：中部地区医師会館3階ホール

座長：医療法人貴和の会 すながわ内科クリニック 院長 砂川 博司 先生
演題：GLP-1 受容体作動薬のポジショニング ～経口セマグルチドを中心に～
演者：医療法人貴和の会 すながわ内科クリニック 神谷 乗史 先生

○日時：令和4年11月24日（木） 19：00～20：10

場所：zoom ウェビナーにて完全 WEB 開催（配信会場：P's SQUARE）

座長：たいようのクリニック 院長 宮平 健 先生

演題1：維持透析患者における ARNI の投与経験からの考察

演者：与那原中央病院 腎臓内科 部長 透析センター長 桑江 紀子 先生

座長：すながわ内科クリニック 院長 砂川 博司 先生

演題2：“腎生”100年時代における ARNI の強み

演者：琉球大学病院 血液浄化療法部 診療教授 古波蔵 健太郎 先生

○日時：令和4年11月29日（火）19：00～20：00

場所：オンライン配信（配信場所：沖縄県浦添市）

座長：中部徳洲会病院 循環器内科主任部長・不整脈センター長 大城 力 先生

演題：「心不全のトータルマネジメント

～高齢化社会を踏まえた心房細動へのアプローチ～

演者：国立病院機構九州医療センター 循環器センター 統括運営部長 肥後 太基 先生

○日時：令和4年12月14日（水） 19：00～20：20

「中部地区医療ネットワークセミナー ～高齢者の心疾患を考える～」

場所：Web 配信

座長：愛聖クリニック 院長 中田 安彦 先生

演題1：かかりつけ医の先生方に知っていただきたい心臓弁膜症の診断ポイント

～聴診や問診、紹介タイミングの重要性～

演者：琉球大学病院 心臓血管低侵襲治療センター 特命教授 岩淵 成志 先生

座長：愛聖クリニック 院長 中田 安彦 先生

演題2：地域で診る心臓弁膜症の低侵襲治療

～紹介から検査・治療、術後のフォローアップにおける地域連携～

演者：琉球大学病院 第二外科 診療准教授 永野 貴昭 先生

○日時：令和4年12月23日（金） 19：00～20：20

「中部地区医療ネットワークセミナー ～高齢者の心疾患を考える～」

場所：Web 配信（個人視聴）

Opening Remarks：読谷村診療所 代表医師 多鹿 昌幸 先生

座長：社会医療法人敬愛会 中頭病院 循環器内科 医長 山口 怜 先生

一般講演：地域で治す心房細動

演者：社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 循環器内科 不整脈部長 仲村 健太郎 先生

座長：社会医療法人敬愛会 中頭病院 循環器内科 医長 山口 怜 先生

特別講演：高齢・超高齢心房細動のマネジメント

～ANAFIE+ELDERCARE-AF から見えてきたもの～

演者：遠賀中間医師会おんが病院 循環器内科 部長 吉田 哲郎 先生

○日時：令和5年2月4日（土）～5日（日）

場所：ハイブリット形式 沖縄県医師会館3階大ホール・2階会議室現地及びWEB配信
「沖縄在宅医療推進フォーラム2022」

【フォーラム①】演題：沖縄における小児在宅医療の現状と課題

オーガナイザー：ゆずりは訪問診療所 小児科医 宮本次郎氏

【フォーラム②】演題：沖縄県における看護小規模多機能型居宅介護の現状と課題

オーガナイザー：ナーシングホームともいき 管理者・看護師 福原里奈氏

【フォーラム③】演題：在宅医療と薬局の連携 沖縄モデルの発信

くすりのミドリ 代表取締役 玉城武範

【フォーラム④】演題：在宅医へのキャリアパス沖縄版 ～在宅医療推進事業 合同企画～

オーガナイザー：西崎病院 訪問診療医 新屋洋平氏

【フォーラム⑤】演題：専門職と本人の想い。考えのギャップに気づいた事例

～沖縄県介護支援専門協会合同企画～

オーガナイザー：さんだん花 部長・

主任ケアマネジャー・産業ケアマネジャー 新垣俊氏

【フォーラム⑥】演題：メンタルが苦しい時に役立つ！セルフマネジメントと苦しみを
抱えた人への接し方

オーガナイザー：沖縄県立中部病院 呼吸器内科/地域ケア科

医長 長野宏昭氏

【市民公開講座】演題：在宅医療における情報発信 一般市民が感じる届かない発信とは

オーガナイザー：沖縄デジタルマーケティングDX事業協同組合

監事 普久原あゆみ氏

○日時：令和5年2月8日（水） 19：00～20：00

最新がん治療WEBセミナー

場所：Web配信（個人視聴）

Opening Remarks：友愛医療センター 副院長 仲地 厚 先生

座長：中頭病院 外科医長 卸川 智文 先生

特別講演：大腸がん領域で歩んだ軌跡 ーベバシズマブBSへの想いを含めてー

演者：中部徳洲会病院 消化器外科部長 内間 恭武 先生

Closing Remarks：浦添総合病院 外科 部長 佐村 博範 先生

○日時：令和5年2月17日（金） 19：00～20：00

「循環器疾患WEBセミナー ～ミネラルコルチコイド受容体から紐解く新展開～」

場所：Web配信（個人視聴）

座長：中部徳洲会病院 循環器内科主任部長・不整脈センター長 大城 力 先生

特別講演：心房細動の発症とMR受容体の関係について

演者：大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座 教授 高橋 尚彦 先生

○日時：令和5年3月8日（水） 19：00～20：30

場所：Web 配信（配信場所：P's SQUARE、大分大学医学部教授室）

不整脈 Expert Meeting

【一般講演】19：00～19：30

座長：中部徳洲会病院 循環器内科 統括部長 兼 不整脈センター長 大城 力 先生

演題：不整脈医が考えるべき降圧治療戦略

演者：牧港中央病院 循環器内科 副院長 比嘉 聡 先生

【特別講演】19：30～20：30

座長：中部徳洲会病院 循環器内科 統括部長 兼 不整脈センター長 大城 力 先生

演題：不整脈医が考えるべき心不全治療戦略—ARNI への期待—

演者：大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座 教授 高橋 尚彦 先生

○日時：令和5年3月13日（月） 19：00～20：10

腫瘍循環器セミナー in 中北部

場所：Web 配信（個人視聴）

座長：北部地区医師会病院 循環器内科科長 蘆田 欣也 先生

講演Ⅰ：当院における腫瘍診療医との連携に関する取り組みについて

演者：中頭病院 循環器内科 医長 山口 怜 先生

座長：北部地区医師会病院 外科科長 赤松 道成 先生

講演Ⅱ：がん関連血栓症最新のエビデンスに基づくマネジメント

演者：大阪国際がんセンター 成人病ドック科 主任部長 向井 幹夫 先生

○日時：令和5年3月24日（金） 19：00～20：20

中部地区 骨粗鬆症カンファレンス

場所：オンライン同時開催／春日観光ホテル 6F 中ホール、Web 視聴

座長：中頭病院 整形外科 親川 知 先生

講演Ⅰ：骨脆弱骨折に対する治療状況 ～急性期医療機関編～

演者：県立中部病院 整形外科 部長 普天間 朝拓 先生

座長：中部徳洲会病院 整形外科 部長 高江洲 美香 先生

講演Ⅱ：回復期病院における骨粗鬆症治療について

演者：沖縄リハビリテーションセンター病院 整形外科 三好 晋爾 先生

座長：中部徳洲会病院 整形外科 部長 高江洲 美香 先生

講演Ⅲ：看護師、OLS としての取り組みから患者さんに貢献できること

演者：ちばなクリニック 看護師 佐藤 千恵子 先生

5) 広報活動事業（担当理事：古堅 理事）（副担当：兼城真理子 理事）

県医師会の「広報委員会」「マスコミとの懇談会」に参加し、医療、保健、介護、福祉等、医師会活動を県民へ広報活動や啓発活動を行いました。また、日本医師会、県医師会、沖縄県、厚生労働省等からの情報や文書等を会員へ迅速に情報提供を行いました。

中部地区医師会70周年事業については、記念誌の発刊に向け、各種資料の収集に努めております。また、コロナ禍において、対面での会議・懇親会等が自粛される中、会員への情報発信・親

睦を目的として、11月より、当会ホームページに「医師会ニュース」を開設し、“新規開業医紹介”、“各班紹介”、“随筆”、“関係通知閲覧”等について閲覧いただけるようになっております。

【関連委員会等】

沖縄県医師会広報委員会（毎月1回）

- 4/7 第1回広報委員会/19:00/沖縄県医師会
- 6/2 第2回広報委員会/19:00/沖縄県医師会
- 8/4 第3回広報委員会/19:00/沖縄県医師会
- 10/6 第4回広報委員会/19:00/沖縄県医師会
- 12/1 第5回広報委員会/19:00/沖縄県医師会
- 2/2 第6回広報委員会/19:00/沖縄県医師会
- 3/9 第7回広報委員会/19:00/沖縄県医師会

6) 救急医療対策事業（担当理事：西原 常任理事）（副担当：大城 理事）

おきなわマラソン大会や管内市町村が主体となって実施する各種イベントへの救護班（医師・看護師）の派遣は、コロナ感染症の為、殆どのイベントが中止となりましたが、令和5年3月に実施された「あやはし海中ロードレース大会」については、会員施設のご協力を受け救護班の派遣をおこないました。

【各種委員会への推薦】

○中部地区MC協議会

担当理事 西原実常任理事を推薦

第1回中部地区MC協議会を書面会議で6月に開催

○令和4年度沖縄県災害医療コーディネーター（地域災害医療コーディネーター）

担当理事 西原実常任理事を推薦

【その他会議などへの参加】

○1/7 令和4年度沖縄県災害医療コーディネート研修 9:00/県産業支援センター

【各種イベントへの医師・看護師派遣】

○「第21回あやはし海中ロードレース大会」への医師・看護師を派遣しました。

3/5 第21回あやはし海中ロードレース大会

「派遣医師（6名）」

- 多鹿 昌幸 先生（読谷村診療所） 桑江 朝二郎 先生（桑江皮膚科医院）
- 田中 新司 先生（海邦病院） 奥村 和也 先生（マリン在宅クリニック）
- 松田 英敏 先生（中頭病院） 道下 聡 先生（ぎのわんメンタルクリニック）

※道下 聡先生はメディカルランナーとして参加。

「派遣看護師（9名）」

- 宮里 あずさ（読谷村診療所） 田中 亜樹（桑江皮膚科医院） 新里 勲（中頭病院）
- 崎間 恵里香（海邦病院） 末吉 知美（海邦病院） 濱端 春美（中山内科医院）
- 玉城 勝江（早川眼科医院） 大矢 麻貴（マリン在宅クリニック）
- 名嘉真 久美（おかえり在宅クリニック）

7) 地域医療対策事業（担当理事：今井 副会長）（副担当：末永 副会長）

例年通り地域支援病院の運営委員会へ役員を委員として派遣し、コロナ対応や救急医療等の課題を解決するための連携強化に努め、令和4年度より中部徳洲会病院地域医療支援病院運営委

員会へ参加し、令和5年2月に中部徳洲会病院は地域医療支援病院に認定されております。

また、沖縄県は平成29年3月に地域医療構想を策定し、今後、中部圏域では回復期病床の不足が見込まれることから、令和3年9月に回復期病床（地域包括ケア病棟）の増床が決まり病床の公募が行われました。その結果、令和4年5月に北中城若松病院（26床）、中部協同病院（28床）、令和5年4月宜野湾記念病院（21床）、令和5年12月社会医療法人敬愛会（94床、新設病院設立）合計169床の増床となります。

さらに、日本医師会の組織強化の施策として、若手医師の入会促進及び医師会員としての定着を図るべく、令和5年度より医学部卒業5年目までの会費減免期間延長が実施されることを受け、中部地区医師会においても医学部卒業5年目までの会費減免期間延長を決定し、医師会入会率の向上に努めてまいります。

【関連委員会への参加】

- 6/16 第1回県立中部病院病院地域医療支援病院運営委員会/書面会議
- 7/20 第1回中頭病院地域医療支援病院運営委員会/15:00/中頭病院
- 8/5 第1回医療機能分化検討会議（第1回沖縄県医師会地域医療委員会）
/19:00/沖縄県医師会
- 9/29 第1回医療機能分化研修会/19:00/オンライン開催
- 10/19 第2回中頭病院地域医療支援病院運営委員会/15:00/中頭病院
- 10/20 第2回県立中部病院病院地域医療支援病院運営委員会/18:00/県立中部病院
- 12/8 第1回中部徳洲会病院地域医療支援病院運営委員会/16:00/中部徳洲会病院
- 1/18 第3回中頭病院地域医療支援病院運営委員会/15:00/中頭病院
- 1/26 第2回中部徳洲会病院地域医療支援病院運営委員会/16:00/中部徳洲会病院
- 2/16 第3回県立中部病院病院地域医療支援病院運営委員会/18:00/県立中部病院
- 3/15 第4回中頭病院地域医療支援病院運営委員会/15:00/中頭病院

【各種協議会・委員会への推薦】

- 中頭病院（地域医療支援病院）運営委員
末永正機 副会長を推薦
- 中部病院（地域医療支援病院）運営委員
- ハートライフ病院（地域医療支援病院）運営委員
- 中部徳洲会病院（地域医療支援病院）運営委員
今井千春 副会長を推薦

【その他】

ゴールデンウィークにおける診療時間調べを実施
年末年始における診療時間調べを実施

- 8) 地域保健対策事業（担当理事：仲地 常任理事）（副担当：今井 副会長）
沖縄県地域医療推進体制連携事業は平成28年度で満10年目を迎え、平成29年度から「中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会」として新たに活動し、講演会だけではなく勉強会や事例・症例検討会を開催し、幅広く多職種（養護教諭・介護関係者等）にも参加を呼びかけ、参加者でディスカッションできる場を設け、連携の強化を図り、糖尿病対策の推進を行ってまいりました。令和4年度も新型コロナウイルス感染症流行の影響により、当委員会の活動も制限せざるを得ない状況でありましたが、以下の講演会をハイブリッド形式による勉強会、

推奨講演会を開催いたしました。また、宜野湾市においても、CKD 病診連携プロジェクトの構築を検討しており、担当理事である仲地常任理事を世話人会へ派遣し、令和5年度以降の構築に向けて協力を行ってまいります。

【委員会への推薦】

- うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病対策推進委員会
石川隆夫 理事を推薦
- うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会
仲地健 常任理事を推薦
- ヘルシーおきなわシティ推進会議
仲地健 常任理事を推薦
- うるま市健康づくり推進協議会委員
仲地健 常任理事を推薦
- 中部地区健康おきなわ21推進会議
仲地健 常任理事を推薦

【各種委員会等への参加】

- 中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会の開催
 - 7/21 第1回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:00/WEB
 - 9/7 第2回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:00/WEB
 - 11/14 第3回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:00/WEB
 - 1/12 第4回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:30/WEB
 - 3/7 第5回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:30/WEB
- 沖縄市食育推進委員会への参加/仲地常任理事
 - 6/29 沖縄市食育推進事業「医師による食育授業」/9:10/県立美来工科高等学校
 - 3/30 沖縄市食育推進会議/16:00/沖縄市役所（WEB併用）
- うるま市・沖縄市 ちゅらま〜み（腎）プロジェクト/中田会長・仲地常任理事
 - 8/9 CKD・糖尿病性腎臓病病診連携医登録事業 ちゅらま〜み（腎）プロジェクト
4者事業報告会 /15:00/うるマルシェ/中田会長
 - 9/21 うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携講演会/19:30/WEB会議
 - 12/16 うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携登録医会議/19:15/WEB会議
 - 3/8 うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進事業市民公開講座
（YouTube配信収録）/14:00/Startup Lab KOZA
- うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会/仲地常任理事
 - 3/17 うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会/19:00/WEB会議
- うるま市・CKD・糖尿病性腎臓病対策推進委員会/仲地常任理事・石川理事
 - 9/20 第1回うるま市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進評価委員会/19:00/書面会議
 - 2/22 第2回うるま市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進評価委員会
/19:00/うるみんな（WEB併用）
 - 3/9 第1回うるま市CKD・糖尿病性腎臓病対策推進委員会/19:00/WEB会議
- ヘルシーおきなわシティ推進会議/仲地常任理事
 - 3/29 ヘルシーおきなわシティ推進会議/16:00/沖縄市役所
- うるま市健康づくり推進協議会/仲地常任理事
 - 9/29 第1回うるま市健康づくり推進協議会 青壮年期・高齢期部会/書面会議

3/20 第1回うるま市健康づくり推進協議会 本部会/14:00/うるみん (WEB併用)

○宜野湾市じの-んCKD病診連携プロジェクト世話人会への参加/仲地常任理事
3/2 じの-んCKD病診連携プロジェクト世話人会/19:00/宜野湾市保健相談センター

【講演会】

医療従事者、関係者への研修会の開催 (3回開催)

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、3回の開催となりました。

第1回勉強会 令和4年9月14日 (木) /WEB講演会 (100名参加)

演 題:「症例勉強会 (血糖増悪時に考慮することは!?)」

演 者: (社医) 敬愛会 中頭病院 内分泌・代謝内科 部長 屋良 朝博 先生

座 長: 中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

第2回勉強会 令和4年11月17日 (木) /WEB講演会 (53名参加)

演 題:「症例勉強会 (血糖増悪時に考慮することは!?)」

演 者: (社医) 敬愛会 中頭病院 内分泌・代謝内科 部長 屋良 朝博 先生

座 長: 中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

第3回勉強会 令和5年1月26日 (木) /WEB講演会 (72名参加)

演 題:「糖尿病と骨粗鬆症」

演 者: (社医) かりゆし会 ハートライフクリニック 糖尿病内科医長 小原 正也 先生

座 長: 中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

【推奨講演会】

医療従事者、関係者への講演会の開催 (1回開催)

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、1回の開催となりました。

推奨講演会 令和5年2月9日 (木) / WEB 講演会 (140名参加)

演 題:「ポスト・コロナ時代の糖尿病診療 2023」

演 者: 琉球大学大学院 医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座 (第二内科)
教授 益崎 裕章 先生

座 長: 中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

9) 老人保健対策事業 (担当理事: 末永 副会長) (副担当: 兼城賢作 理事)

平成29年4月から管内の9市町村 (沖縄市・うるま市・宜野湾市・西原町・北谷町・嘉手納町・中城村・北中城村・読谷村) と宜野座村・金武町・恩納村からの委託を受け行っている「在宅医療・介護連携推進事業」は、令和4年度において、6ブロックに分けて事業を実施しております。地域包括ケアシステムの要の1つとして、医療と介護の両方を必要とした高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供するために、市町村が主体となって医師会等と連携を密にしながら、地域の関係機関の連携体制の構築を推進することを目的に、下記の実施項目 (ア) ~ (ク) の8項目を行いました。また、新型コロナウイルス感染症が流行している時期においても継続して事業展開ができるよう、オンラインの体制を整え、会議や研修会など

で活用しました。

【在宅医療・介護連携推進事業】

(ア)「地域の医療・介護資源の把握」

中部地区の医療施設、介護施設の住所や機能を調査し、情報の更新や検索がしやすい様にインターネット上で構築。南部地区医師会、北部地区医師会と共同で管理、運営し沖縄県内統一のマップを作成しております。

(イ)「在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討」

地域の在宅医療、介護に関わる委員で構成された在宅医療・介護連携推進会議を開催し、在宅医療・介護連携における課題の抽出、対応策の検討を行いました。

・うるま市在宅医療・介護連携推進会議

第1回(5/26) オンライン

第3回(11/24) オンライン+うるま市役所

第2回(8/25) オンライン

第4回(3/2) オンライン+うるま市役所

・沖縄市在宅医療・介護連携推進会議

第1回(5/23) オンライン

第3回(11/21) オンライン+沖縄市役所

第2回(8/15) オンライン

第4回(2/20) オンライン

・宜野湾市在宅医療・介護連携推進会議

第1回(6/16) オンライン

第3回(12/15) オンライン

第2回(9/15) オンライン

第4回(3/16) オンライン

・金武町・宜野座村・恩納村在宅医療・介護連携推進会議

第1回(5/18) オンライン

第3回(11/16) オンライン

第2回(8/17) オンライン

第4回(2/15) オンライン

・北谷町・嘉手納町・読谷村在宅医療・介護連携推進会議

第1回(5/19) 中部地区医師会

第3回(11/17) オンライン

第2回(8/18) オンライン

第4回(2/16) オンライン

・西原町・中城村・北中城村在宅医療・介護連携推進会議

第1回(5/30) オンライン

第3回(11/28) オンライン

第2回(8/22) オンライン

第4回(2/27) オンライン

(ウ)「切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進」

医師会を中心に医療職、介護職と実現可能な切れ目のない体制のあり方を検討しました。

1. 連携強化型在宅療養支援診療所連絡会

第1回(4/26)、第2回(5/31)、第3回(6/29)、第4回(7/25)、第5回(8/29)、第6回(9/26)、第7回(10/24)、第8回(11/14)、第9回(12/23)、第10回(1/16)、第11回(2/13)、第12回(3/13)

2. 中部地区合同会議

・第1回(9/29 会場+オンライン)

・第2回(3/14 会場+オンライン)

3. 中部地区訪問介護事業所連絡会 登録：48事業所

・第1回「介護現場が元気になるコーチングコミュニケーション」勉強会(9/22 会場)

- ・第2回 意見交換会（1/16 オンライン）
- ・第3回 意見交換会「令和5年度計画について」（3/14 会場＋オンライン）

（エ）「医療・介護関係者の情報共有の支援」

在宅医療・介護連携に関する情報共有支援を行いました。

1. 専用ホームページを運用し、医療介護関係者へ研修会やお知らせ等の情報共有や医療介護連携のためのシートや冊子等の提供を行いました。（ホームページアクセス数 27,992件）
2. 在宅医療・介護連携メーリングリスト登録を呼びかけ、積極的に情報発信を行いました。
メーリングリスト登録者：835名（+33名）送信件数：49件 記事投稿回数：61回
3. 在宅医療・救急医療連携体制構築に向けた取り組み
高齢者入所施設での療養生活時、急変時における各関係機関への基本的な心得「介護施設等における在宅・救急連携の基本的な心得」チラシ作成。ホームページにてデータ上で情報提供。
4. 平成30年度作成の入退院連携マナーブックを令和4年度報酬改定に伴い制度や加算情報の修正を行いホームページにてデータ上で情報提供

（オ）「在宅医療・介護連携に関する相談支援」

1. 医療介護関係者、地域住民からの在宅医療・介護連携に関する相談支援を行いました（62件）
相談内容：地域資源提供について、施設体制、新型コロナウイルスに関すること

（カ）「医療・介護関係者の研修」

1. 医療介護関係者の質の向上や顔の見える在宅医療・介護連携体制の構築のため、多職種研修会を開催しました。

○カテゴリー別（4つの場面）研修会

- ・入退院支援多職種研修会（令和4年8月24日 オンライン） 参加数：160名以上
座長：多鹿 昌幸（読谷村診療所）
登壇：秦 克之（中頭病院）、新垣 俊（介護支援センターさんだん花）、上原 正美（中頭病院）、山口 尚子（el sol 元氣のたね）
- ・療養生活支援多職種研修会（令和4年10月19日 会場 NBC 結婚式場＋オンライン） 参加数：97名以上
講師：北原 佑介（ゆずりは訪問診療所）、知念 佳代子（三幸福祉カレッジ）
- ・看取り支援多職種研修会（令和4年12月1日 会場 NBC 結婚式場＋オンライン） 参加数：152名以上
講師：金城 隆展（琉球大学病院）
- ・急変時対応多職種研修会（令和5年3月2日 オンライン） 参加数：138名以上
座長：山入端 浩之（ファミリークリニックきたなかぐすく）
登壇：友利 隆一郎（中部徳洲会病院）、奥間 裕次（おくまクリニック）、松田 温（沖縄市消防本部 泡瀬出張所）、新垣 俊（介護支援センターさんだん花）、山内 洋勝（ふれあい介護センター）

○フレイル・サルコペニア予防講習会（令和4年6月14日 オンライン） 参加数：119名以上

講師：末永 正機 氏（ちゅうざん病院院長）、末吉 勇樹 氏（ちゅうざん病院 理学療法士）

○ファシリテーション養成講座

- ・基礎編（令和4年6月22日 オンライン） 参加数：123名
- ・応用編（令和4年10月26日 オンライン） 参加数：56名
講師：玉城 竜一（社会福祉法人幸仁会 比謝川の里）

2. 高齢者施設向けDVD貸出研修 貸出数：計67件、視聴者345名

(キ)「地域住民への普及啓発」

在宅医療・介護に関する地域住民の理解を深める為の普及啓発を行いました。

○12市町村地域住民（住民、地域ボランティア、民生委員等）向けアニメーション動画、エンディングノートを活用したACP（アドバンス・ケア・プランニング人生会議）出前講座開催

出前講座開催数：18件 参加人数 314名

- ・8月3日北谷町公民館主事会 29名
- ・9月9日うるま市曙区介護予防体操 10名
- ・9月15日沖縄市東中学校区民生委員会 12名
- ・9月29日北谷町宮城公民館民生委員会・老人会 14名
- ・11月8日うるま市介護長寿課・包括職員向け 15名
- ・11月18日沖縄市見守りサポーター養成講座 15名
- ・11月22日うるま市民生委員、社協職員、包括職員 19名
- ・11月30日嘉手納町介護予防サポーター 5名
- ・12月19日うるま市あさひ区老人クラブ 10名
- ・12月22日沖縄市特別養護老人ホーム知花の里職員 35名
- ・1月20日北中城村包括職員向け 7名
- ・1月25日沖縄市越来公民館 15名
- ・2月1日西原町第1民生委員会 24名
- ・2月1日北中城村民生委員 29名
- ・2月3日恩納村役場福祉課職員 11名
- ・2月6日読谷村民生委員児童委員協議会 23名
- ・2月6日読谷村民生委員児童委員協議会 33名
- ・3月29日西原町グリーンワーク沖縄団体 8名

○短編漫画、アニメーション動画を活用した地域住民向けACP普及啓発活動

- ・在宅ゆい丸センターホームページに短編漫画データ、アニメーション動画を掲載
- ・在宅ゆい丸センターYouTubeチャンネルへアニメーション動画の掲載
- ・アニメーション動画YouTube 84万回視聴（令和5年3月末時点）

○市町村担当者と調整し、市町村広報誌（11～12月号）等にACP記事掲載

○沖縄タイムス週刊ほ～むぷらざ 事業活動、冊子エンディングノート内容の記事掲載

○在宅ゆい丸センターリーフレット活用し事業周知活動

地域住民・医療・介護機関事業所等へ当センター事業活動について周知の為、リーフレット作成、配布、周知強化

○もしバナカード貸出：人生の最期にどうありたいか。もしもの為の話し合い。きっかけをつくるカード。 貸出先：地域包括支援センター、介護事業所 等（11か所）

(ク)「在宅医療・介護連携に関する関係市町村との連携」

1. 在宅医療連携事業に係る第1回地区医師会コーディネーター会議（10/28）場所：県医師会
2. 沖縄県医師会事務局新任職員向け勉強会（1/12）場所：県医師会
3. 中部地区における課題や長期的な計画を整理し、構成市町村がそれを共有する必要がある事から市町村担当者との意見交換を実施しました。

第1回（4/26）、第2回（6/27）、第3回（8/29）、第4回、市町村課長会議（10/25）

第5回（12/20）第6回（2/21）

【令和4年度事業報告書】

今年度の事業活動を評価し事業報告書を作成し各専門職団体、中部地区12市町村、地域包括支援センター各ブロック在宅医療・介護連携推進委員へ報告し今後の活動へ繋げる

・専門職団体：8団体

中部地区歯科医師会、中部地区薬剤師会、沖縄理学療法士協会、沖縄看護協会、沖縄県介護福祉士会、沖縄県医療ソーシャルワーカー協会、沖縄県介護支援専門員協会、沖縄県リハビリテーション専門職協会

・中部地区12市町村、地域包括支援センター、各ブロック在宅医療・介護連携推進委員：82カ所

【その他、外部会議や研修会等への参加】

- ・地区医師会コーディネーター等会議/オンライン（毎月）
- ・中部地区医師会訪問看護ステーション看取り事例振り返りに参加（4/12）
- ・沖縄市介護支援専門員連絡会へ参加、当センターの紹介（4/21 オンライン）
- ・沖縄緩和・在宅ケア同好会プレゼンツ『コロナ（禍）からの「癒し」と「回復」』（4/25 オンライン）
- ・全国連携実務者ネットワーク主催「第14回全国連携実務者ネットワーク連絡会」（5/28 オンライン）
- ・沖縄支部ケアマネ研修会に参加（6/29 オンライン）
- ・九州厚生局地域包括ケア推進課主催 第1回九州厚生局地域共生セミナー（7/6 オンライン）
- ・沖縄県医師会主催 第2回感染症予防研修会（7/11 オンライン）
- ・日本在宅医療連合学会主催 第4回日本在宅医療連合学会大会（7/23-24 会場参加）
- ・三菱UFJ主催 地域包括ケアシステム総論セミナー（8/23 会場参加）
- ・保険者シート研修（9/12 オンライン）
- ・民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修（10/13. 10/20 オンライン）
- ・全国医療介護連携ネットワーク研究会主催「国内外の地域医療DXの実際と地域包括ケアの今後」（10/15 オンライン）
- ・三菱UFJ（介護保険事業分野リサーチ）事業個別相談会へ参加（11/12 会場）
- ・北谷町介護の日講演会（11/11 会場）
- ・高齢者入退院支援者向けセミナー「コロナ禍で活用できる社会資源」（11/19 オンライン）
- ・第18回在宅医療推進フォーラム（11/23 オンライン）
- ・令和4年度沖縄県入退院支援連携デザイン事業 小規模離島等市町村意見交換会（11/24 オンライン）
- ・在宅医療と地域包括ケア研究会（12/8 オンライン）
- ・日本地域包括ケア学会大会（1/9 オンライン）
- ・第23回 在宅医療WEBセミナー2022「在宅診療クリニックが導入すべきITサービス」（1/18 オンライン）
- ・中部保健所主催 令和4年度在宅難病患者支援者研修会（1/20 会場）
- ・北部地区MC協議会との情報交換会（2/16 会場）
- ・沖縄在宅医療推進フォーラム2022（2/4. 2/5 会場・オンライン参加）
- ・全国連携実務者ネットワーク主催「第3回医師会が進める医療介護連携を考える」（2/11 オンライン）
- ・沖縄県入退院支援連携デザイン事業『「身寄り」のない人が安心して入退院できる地域づくり』（2/15 オンライン）
- ・令和4年度沖縄県在宅医療支援事業「往診代診医師派遣事業」説明会（2/15 オンライン）

- ・ 第 19 回沖縄県介護支援専門員研究大会 in 読谷（2/17 会場）
- ・ 北谷町認知症関連連絡会（3/3 会場）
- ・ かんたき連絡会（3/10 オンライン）
- ・ 沖縄国際大学 3 年次学生による卒業研究インタビュー対応（3/16 医師会）
（テーマ：「在宅医療・介護における支援体制～社会福祉士の役割を通して～」）
- ・ うるま市認知症初期集中支援委員会（3/17 委員として現地参加）
- ・ 2024 年診療報酬改定の展望と 2040 年に向けた在宅医療拡大戦略セミナー（3/12 現地）

【各種協議会、委員会への推薦や会議の参加】

○沖縄市福祉のまちづくり推進懇話会委員の推薦

富盛 宏 先生（沖縄リハビリテーションセンター病院）を推薦。

第 1 回委員会 2/6 18：00/沖縄市役所

○沖縄地域包括支援センター運営協議会委員への推薦

末永 正機 先生（ちゅうざん病院）を推薦。

1 0）介護保険対策事業（担当理事：末永 副会長）（副担当：兼城賢作 理事）

「医療なき介護はありえない」の理念から、介護認定審査会において、主導的役割を果たせるよう会員医師を推薦しました。また、沖縄県介護保険広域連合の事業計画策定委員会へ委員として参加しました。

【各種協議会・委員会】

○沖縄県介護保険広域連合介護保険事業計画策定委員会（末永正機副会長）

日時：令和 4 年 5 月 25 日（水）10：00～

場所：沖縄県介護保険広域連合（WEB 開催）

1 1）班活動の強化（担当理事：今井 副会長）

各班活動のバックアップ体制の強化に努めているところですが、班活動活性化にむけ班会議が定期的開催されるよう取り組みました。

※令和 4 年度においても、各班、コロナ感染症拡大防止のため班会議は中止となりました。

- ・ コザ北班（定例開催：毎月第 3 火曜日開催）
- ・ 宜野湾班（定例開催：偶数月第 4 月曜日、奇数月第 4 火曜日）
- ・ コザ南班（定例開催：毎月第 2 火曜日）
- ・ 嘉手納班（定例開催：奇数月第 3 木曜日）
- ・ 西原班（定例開催：奇数月第 1 火曜日）
- ・ うるま班（定例開催：奇数月第 3 水曜日）
- ・ 班長連絡会（偶数月の第 2 月曜日）※令和 4 年度は 4 回実施。
4/11 第 1 回班長連絡会、 6/13 第 2 回班長連絡会
10/17 第 3 回班長連絡会、 12/12 第 4 回班長連絡会

1 2）医事紛争・医療安全対策事業（担当理事：兼城真理子 理事）（副担当：今井 副会長）

医事紛争処理体制や医療安全対策の強化に向けて、沖縄県医事紛争処理委員会、沖縄県医療安全対策委員会、沖縄県医師会会員倫理向上委員会に参加し、協議、検討を行いました。

また、「診療の安全を脅かす事例」について会員施設へアンケートを実施し、回答していただい

た 39 施設の内容を取りまとめ、県医師会へ報告いたしました。

【委員会への参加】

6/16 沖縄県医師会医事紛争処理委員会/19：00/沖縄県医師会

12/8 医療従事者の安全を確保するための対策検討委員会/19：00/沖縄県医師会

1 3) 医療保険対策事業（担当理事：兼城真理子 理事）（副担当：今井 副会長）

令和 2 年度から新型コロナウイルス感染症に係る PCR 検査や抗原検査等が新たに保険適用になったことから、会員施設で円滑に保険診療が行えるよう各種情報や最新の資料を提供するように努めました。現在、68 施設が PCR 検査・抗原検査を行える診療・検査医療機関として公表しております（R5 年 5 月現在）

【内訳】

68 施設が PCR、抗原検査等が行える診療・検査医療機関（R5 年度より外来対応医療機関）

68 施設のうち 25 施設が医師会 WEB サイトで公表中

【各種協議会・委員会への推薦】

○うるま市国民健康保険運営協議会への委員（任期：R4/6/1～R7/5/31）

西川高広 先生（伊波クリニック）を推薦

○嘉手納町国民健康保険運営協議会への委員（任期：R4/6 月～R7/3 月）

名嘉準一 先生（名嘉病院）を推薦

【協議会】

11/14 第 1 回地区医師会医療保険担当理事連絡協議会/19：00/沖縄県医師会

1 4) 精神保健対策事業（担当理事：兼城賢作 理事）（副担当：道下 理事）

沖縄県医師会、沖縄県立総合精神保健センター等と連携し自殺予防対策事業の一環として、かかりつけ医等心の健康対応向上研修企画委員会に担当理事を派遣し研修会を企画しました。なお、令和 4 年度においては沖縄県からの委託事業「うつ病に対する医療等の支援体制の強化事業」の依頼はありませんでした。

【各種協議会・委員会等への推薦】

かかりつけ医等心の健康対応向上研修企画委員会委員の推薦

兼城賢作理事を推薦

6/29 第 1 回かかりつけ医等心の健康対応向上研修企画委員会/19：30/WEB 会議

3、看護師養成を目的とする事業（継続事業 2）

（担当理事：大城 理事）（副担当理事：仲地 常任理事）

本事業は、多様化、複雑化した地域保健・医療・福祉ニーズにも応えられるような柔軟に対応できる看護師の養成を行い地域医療福祉の向上に寄与することを目的に実施しました。

令和 4 年度も新型コロナウイルス感染症は看護教育にも大きな影響を与えました。特に第 8 波以降ぐしかわ看護専門学校でも感染者が急増し、感染者は令和 3 年度の 2 名に対し、令和 4 年度は学生、教職員含め 83 名の感染となりました。感染経路は不明 53%、家族 27%、その他 20%で、学内での感染は確認されませんでした。授業は遠隔授業と対面事業を併用したハイブリット授業で対応し、受け入れ中止となった臨地実習は学内実習での対応となりました。2023 年 2 月 12 日（日）に行われました第 112 回看護師国家試験では 3 年生 83 名が挑み、合格者は 80 名で合格率は 96. 2%でした。卒業生は開校 15 年目で 1 千名を超え 1, 029 名

に達しており、着実に本会の使命である地域医療、介護、福祉の充実、強化に寄与しました。このことにつきましては、会員各位並びに会員施設からの絶大なる協力の賜物であり厚くお礼申し上げますと共に、更に講義及び臨地実習を予定通り行うことが出来たことに対しても深く感謝申し上げます。

(1) 新カリキュラム授業開始

新カリキュラム施行1年が経過した。新設科目については、授業評価から課題を抽出し、令和5年度入学生に即対応するとした。学生は科目の課題達成のため、グループで作成することが都度あり、その作業の様子やその成果物から、看護を学ぼうとする学生は、それぞれの個性があり、可能性を秘めていること、各自が責任をもってやり遂げようとする力を持っていることを知ることができた。学生の感性に触れ、その感性を伸ばしていく学校の役割を改めて感じている(看護展望 2023.3月号に掲載)。新カリキュラム2年目は、領域横断科目健康状態別看護の授業展開が課題となる。県内の他校にはない本校のアピールになる科目であり、ぐし看の教員力の挑戦ともいえ、建学の精神であるユイマールを発揮して取り組んでいきます。

(2) 受験生の確保

県内の看護学校の受験者数は、18歳人口の減少と社会人受験者が最低賃金の改定や他職種の労働環境の改善などを背景に減少傾向が続いている。令和4年度も県内看護学校5校の合計で前年比-273名-18%の減少となっています。ぐしかわ専門学校では次の対策を行うことにより、減少幅を全体の半分程度に抑えることができましたが、ぐしかわ看護専門学校令和4年度の入試倍率は前年比0.27ポイント減の2.63倍となっております。

実施した対策

- ①県内看護系予備校6校を訪問し、情報交換を行うことで、ぐしかわ看護専門学校への受験促進を図った。
- ②WEB 学校説明会の実施、高校進路指導部担当教員を招いての学校説明会はコロナ禍のためWEBによる学校説明会に切替えて実施したことにより、離島や遠方の高校からの参加もみられた。又今回から予備校にも参加を呼びかけ、3校の参加がありました。
- ③WEB オープンキャンパスの実施、コロナ禍による対面でのイベント開催が困難であったためWEB オープンキャンパスを開催し、入試情報等の情報発信を行いました。
- ④入試科目の検討については、入試委員の先生方の意見も踏まえ、当面従来通りの国語、数学、英語の3科目とすることとしました。
- ⑤令和5年度の入試日程については県内看護学校5校の調整会議を開催し、極力に入試日程の重複が無いよう調整を行いました。
- ⑥社会人受験生の掘り起こしを目的に、社会人向け入試対策説明会を開催し、社会人14名の参加がありました。説明会では一般入試受験時の注意点および対策等や参加者からの質問に答え社会人受け入れの情報発信を行いました。

(3) 病学連携

当校の実習施設である会員施設と学生の就職動向や少子化における今後医療機関や学校が取り組むべき課題について、情報交換を行いました。会員医療機関との相互の教育に係る交流・

連携については、コロナ禍の影響により、十分な活動を行うことができませんでした。

(4) 学校評価

学校評価の実施、学校運営の改善と発展を目指し、教育の水準の向上と保障を図るため文部科学省の「学校評価ガイドライン」に基づき自己評価、学校関係者評価を実施し、評価結果の公表を行いました。学生による学校評価では、コロナ禍の影響から遠隔授業が増え学校への登校が減ったことで、「学校行事に満足している」「学校行事のほか学年間の交流する機会がある」「地域の人々と交流やボランティアの機会がある」などの評価が低い結果となりました。

(5) 放送大学連携協力

令和2年度から開始した放送大学との連携協力によるダブルスクール制度は令和4年度も2名が入学し、入学者数は10名となり、学校の授業と放送大学の授業を併修し、大学卒業資格（学士）の取得に向けて励んでおります。

(6) 電子図書及び電子教科書

図書室における電子図書の導入を令和元年から開始し、本年度までに146タイトルの図書を導入し、多くの学生に利用されております。電子図書は一つの図書（タイトル）を複数の学生が同時にいつでもどこでも利用することが可能で、利便性と利用率の向上が図れるため、引き続き図書の充実を図ります。

(7) 後援会

後援会の予算を活用し、国家試験対策対外模試や学生会活動への支援、学生会主催の新入生歓迎レクなど各種行事への支援やコロナ感染の疑いのある学生に対するPCR検査の実施などを行いました。

(8) 各種会議

学則第32条に基づく管理者会議、職員会議、教育会議等各種会議を開催し、学校運営の円滑化を計りました。

(9) 地域貢献

地域に密着した学校として老人会と学生との交流や自治会等の開催するイベント、ボランティア活動への参加は、コロナ禍の影響によるイベント等の中止により十分な活動が出来ませんでした。

(10) 看護師国家試験

令和4年度112回看護師国家試験では、コロナ禍で厳しい学習環境の中、3年生全員と教職員が一致団結し、国試対策に取組み、13期生83名が挑み80名の合格で合格率は96.2%となっており、3年連続の全員合格はなりませんでしたが、過去5年間（平成29年から令和3年）平均の合格率は98.7%で県内看護系大学を含め8校中トップの合格率となっております。

(10) 卒業生の就職・進学状況

	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31	R1	R2	R3	R4	合計
会員施設	16	40	35	33	23	31	43	25	32	40	46	34	32	430
県内会員外	23	14	12	16	29	15	9	10	16	23	7	9	7	187
県内公立	27	9	10	15	4	14	24	16	13	10	12	20	25	203
県外	2	8	12	16	14	8	11	19	12	15	11	8	13	147
進学	7	1	2	2	3	5	2	2	2	2	4	7	3	43
その他	0	0	5	0	0	2	1	1	3	2	2	0	3	19
計	75	72	76	82	73	75	90	73	78	92	82	78	83	1,029

卒業生の総数は開校15年目で1千名を超えております。

令和4年度卒業生(13期生)の就職・進学状況は、次に示す通りとなっており、施設別では会員施設が32名(38.6%)地域別では県内就職64名(83%)その内51名(66%)が中部地域となっており、当校の建学の精神「地域住民の健康ニーズに応える」教育目的「地域・社会に貢献できる人材を育成する」を達成しており、中部地域の医療を支える看護師養成所として、なくてはならないものとなっています。

令和4年度卒業生(第13期生)の就職・進学状況

就職・進学状況(施設別)

施設	人数(%)
会員施設	32 (38.6%)
県内公立病院	25 (30.1%)
県内会員外施設	7 (8.4%)
県外施設	13 (15.7%)
進学	3 (3.6%)
その他	3 (3.6%)
合計	83 (100%)

就職状況(地域別)

地域		人数(%)
県内	中部地区	51 (66%)
	中部地区外	13 (16%)
	小計	64 (83%)
県外		13 (17%)
合計		77 (100%)

4. 地域住民の健康増進に関する事業(継続事業3)

(担当理事:松嶋 副会長)(副担当:末永 副会長)

本事業は、地域住民に対し「高齢者の医療の確保に関する法律」により実施される特定健診、「健康増進法」に基づく各種がん検診を集団で実施。また「学校保健安全法」「母子保健法」に基づく各種健診を乳幼児・児童・生徒の疾病の予防、早期発見を行い地域住民の健康増進に寄与することを目的に実施しました。

1) 特定健診・各種がん検診(集団健康診断)の事業

沖縄市・うるま市・嘉手納町・北谷町・北中城村より委託を受け実施している特定健診及び各種がん検診(肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん・乳がん検診、前立腺がん検診、胃がんリスク検診)骨粗鬆症検査、肝炎ウイルス検査について、集団健診(婦人科集団健診含

む)では、令和4年度においても、令和3年度同様に「新型コロナウイルス感染症対策」予防策を講じながら、検診予約制にて検診を実施いたしました。年間、住民健診(特定健診等がん検診)125回、婦人科集団検診73回実施、うるま市・嘉手納町・北谷町においてはナイト健診を7回実施しました。また、休日健診については、令和4年度より休日加算額を設定し、5市町村で計15回実施した結果、5,193,650円の収入増となりました。

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら各市町村、自治会、と連携を図り、受診率向上に努めました。

うるま市集団健診においては、令和元年度より「尿中推定1日塩分量検査」を開始し令和4年度も継続的に実施しており、北中城村集団健診においても、令和3年度より40歳以上の住民を対象に開始した「尿中推定1日塩分量検査」を令和4年度も引き続き実施いたしました。また、嘉手納市集団健診においては、オプション検査として「尿中推定1日塩分量検査」を開始いたしました。

子宮頸がん検診では、がんの要因となるヒトパピローマウイルス(HPV)に感染しているかどうかを調べるHPV検査をオプション検査として、「細胞診」と「HPV」の併用検診の受診勧奨へ積極的に取り組みました。

※集団特定健診各種がん検診予算205,185千円に対して、概算実績は203,819千円、達成率99%

2) 学童健診(乳児・1歳半・児童生徒)事業

令和4年度におきましては、北谷町と沖縄県(県立4校:球陽中学高校・北谷高校・嘉手納高校・美里高校)より委託を受け、児童生徒の各種検査(尿・視力・聴力・心電図・XP)と一部市町村の認可・認可外保育施設園児の各種検査(尿・蟻虫・内科健診)を実施しました。また、乳児健診(小児保健協会より)及び1歳半健診(北谷町・嘉手納町より)を実施しました。

うるま市において、令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症による影響のため、乳幼児健康診査(前期)受診率が著しく低下していることから、うるま市、沖縄市内の小児科専門医所属の医療機関のご協力を頂き、医療機関内にて実施する乳幼児個別健康診査(前期)の集合契約について取りまとめを行いました。(令和4年4月~令和5年3月まで912名受診)

5. 在宅医療推進に関する事業(その他事業1)

(担当理事:末永 副会長)(副担当:兼城賢作 理事)

本事業は、中部地域の病院や療養施設から自宅へ戻る在宅医療・看護・介護・福祉が必要な利用者(高齢者・障がい者・障がい児及び人生の最終段階を自宅で迎えるターミナル患者等)に対し訪問看護・訪問リハビリ・介護サービスを提供し在宅で療養生活が安心して過ごせるよう実施しました。

① 訪問看護ステーション事業運営

沖縄市八重島事務所を拠点に、中部地区全域を対象に引き続き、看護師・理学療法士・言語聴覚士による多職種協働でサービスを提供し機能強化訪問看護ステーション加算Ⅱ(常勤看護師5名・ターミナルケア算定年間15回以上)を継続取得しました。利用者には更なる質の高いサービス向上(24時間体制の強化・ターミナルケア・超重症児・児の重症度の高い患者7名受入等)に務めました。

令和4年度も引き続きコロナ感染症対策を行い訪問サービスを継続し職員には定期PCR検査実施。安全に訪問サービスが提供できるよう各種委員会を中心に職員一丸となり対策へ取り組みました。

質の高い訪問サービスを継続するため定期的な課内研修や外部研修を計画的に行いました。中・長期的なキャリアアップ制度確立を進めています。また、病院・診療所・地域介護保険施設との連携やコロナ自宅療養者訪問等、地域・医療・福祉の連携を強化しました。更に、医療ニーズの高い方終末期ケア等、地域医療機関との連携、退院支援、在宅医療、地域の実情や課題解決、切れ目ない支援への取り組みを行い、さらには、各事業所の利用者獲得増のために原則1回/月、担当理事と各部署にて会議を行い、利用者獲得へ向けての対策、問題点などを確認しております。

② ヘルパーステーション事業運営

例年通り、障がい者総合支援法（精神・障害者・児）・介護保険に基づく利用者の確保や訪問件数の増加を図るために教育や定期的な研修を行って参りましたが、人員配置が行えず訪問件数が減少となっております。

職員の定着及び労働環境改善、スキルアップ研修等充実した職場環境づくり、コロナ禍でも訪問を継続できる体制作りが課題であります。

③ 居宅介護支援事業所事業運営

特定事業所加算Ⅱ（主任介護支援専門委員2名・介護支援専門員2名）を継続し訪問看護・訪問リハビリ・ヘルパーと連携。職員体制を整え沖縄県介護保険広域連合、地域包括支援センター・医療機関との連携を強化推進。職員個々の能力向上のため、Web研修へ参加すると共に、定期的な勉強会の開催に努めました。

3事業所の健全経営基盤を構築するため他の介護施設との連携を深めると共に、会員が利用しやすい24時間体制やターミナルケアに特化した訪問看護・介護への充実に努めました。

【利用者の開拓】

中部地区会員施設や国立療養所沖縄病院、琉球大学病院、県立中部病院、県立南部こども医療センター等と更なる連携強化を図り利用者の拡大を図りました。

【24時間体制の強化】

主治医の指導の下、利用者が安心して在宅療養が出来るように「24時間体制の強化」「主治医や利用者へのきめ細かい情報提供」を行い、地域医療の推進・安心と信頼を得られる事業所運営を図りました。

【実習施設として受け入れ態勢の強化】

昨年に引き続き、ぐしかわ看護専門学校等の実習施設として実習生の受け入れを行いました。

6. 会員福祉向上に関する事業（その他事業2）

会員福祉事業（担当理事：道下 理事）（副担当：石川 理事）

本事業は、会員及び会員施設の福祉の向上経営安定化を目的に実施されるもので、会員及びその親族（一親等）が死亡した場合における告別式新聞広告、供花の低価格での案内も行うと共に、下記の事業を行いました。

※「供花のご案内については、中部スタッフサポートの事業縮小に伴い、令和4年12月末をもって終了いたしました。」

① 中部地区医師会表彰の開催

平成29年度より中部地区医師会表彰規程を作り、令和4年度も引き続き長年に亘り学校医や

健診協力医、ぐしかわ看護専門学校講師、各種委員会委員、本会役員等としてご尽力頂いた会員並びに会員施設に勤務する医師以外の職員で勤続10年に達した医療従事者に対し「中部地区医師会表彰」として表彰を行いました。医療従事者表彰については、コロナ感染症対策が秋以降に緩和されたこともあり、表彰式典のみ開催いたしました。表彰者には例年通り、賞状、記念品を贈呈しております。

1) 令和4年度、医療従事者表彰

日 時：令和4年11月10日（木）19：00～

場 所：NBC日本ブライダルセンター

受賞者：272名(36施設)

2) 中部地区医師会会員表彰式※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い祝賀会は中止。

日 時：令和5年3月25日（金）/臨時総会終了後開催

場 所：中部地区医師会館

受賞者：15名

「優功賞」

野村 秀樹 先生（理事在任10年：理事 H24～H27、常任理事 H28～R2、副会長 R2～R4）

末永 正機 先生（理事在任7年：理事 H28～R3、常任理事 R3～R4、副会長 R4～現在）

仲地 健 先生（理事在任7年：理事 H28～R4、常任理事 R4～現在）

嘉数 朝一 先生（理事在任6年：理事 H25～H30）

祝嶺 千明 先生（監事在任7年：監事 H28～現在）

石川 隆夫 先生（班長在任10年：班長 H25～現在）

新垣 民樹 先生（班長在任8年：H23～H30）

松永 次郎 先生（班長在任6年：H29～現在）

「功労賞」

金城 光世 先生（宜野湾中学校 校医10年：H25～現在）

湧上 聖 先生（普天間高等学校 校医10年：H25～現在）

大田 守雄 先生（ぐしかわ看護専門学校 講師13年 平成22年～現在）

上原 元 先生（ぐしかわ看護専門学校 講師13年 平成22年～現在）

武田 理 先生（ぐしかわ看護専門学校 講師12年 平成23年～現在）

翠宮城 正典 先生（ぐしかわ看護専門学校 講師11年 平成24年～現在）

島袋 史 先生（ぐしかわ看護専門学校 講師10年 平成25年～現在）

- ② 中部地区医師会会員（配偶者含む）、浦添市医師会会員、中部地区歯科医師会会員向けに、人間ドックを日曜日【7/10（15名）、11/6（14名）合計2回】及び平日早朝（7:30開始）で行い、会員が受診しやすいよう努めました。

7. 受託健診に関する事業（その他事業3）

（担当理事：松嶋 副会長）（副担当：末永 副会長）

本事業は、会員施設からの臨床検査受託事業や管内市町村や健康保険組合等から委託を受け人間ドック、特定健診（特定保健指導及び入力代行含む）、各種検診の施設内健診事業、また、労働安全衛生法に基づき検診車を活用しての健康診断や特殊検診に関する企業健診事業及びストレスチェック事業等を地域住民の疾病の早期発見、健康の保持と増進を目的に行いました。

1) 臨床検査受託事業【臨床検査課・営業課】

令和4年度は、保険点数の引き下げや各医療機関において、コロナ抗原検査キットを使用した検査が主流となったため、PCR検査の受託数が減少傾向となりましたが、引き続き臨床検査課の売上増を牽引し年度予算を達成いたしました。

また、以下①から③の事項について、予算達成に向け務めて参りました。

- ① 中部システムサポート（株）と連携を図り、日本医師会レセプト（オルカ）や各種メーカーの電子カルテ対応システム、またSRLとの業務連携により新規開業の施設獲得に努め営業力強化を図りました。
- ② 臨床検査技師の技術向上を目的に各種学会や講習会へ積極的に参加いたしました。又、検査課内のマルチ化対応を目的に、業務のローテーションを行い人材育成に努めました。

【参加学会講習会等】

日本臨床細胞診学会/日本マスキング学会/県技師会学会研修会

- ③ 先天性新生児代謝異常検査事業
沖縄県地域保健課から受託した事業、タンデムマス法による「新生児先天性代謝異常等検査・（新生児マス・スクリーニング・20種）」は年間約14,300名の検査を行いました。
沖縄県の出生数減少に伴い、検査数は微減となりました。

2)人間ドック、各種健康診断【健康増進課】

令和4年度の施設内健診では、引き続き標準的な感染対策を行い職員間の感染や受診者からの感染等のクラスターと思われる事例もなく、年間を通して計画通りに1日当たり、午前85名（ドック55名、健康診断30名）/午後28名（ドック8名、健康診断20名）の受入れ体制を維持し、以下の通りとなりました。

- ① 施設内健診予算502,597千円に対して、概算の実績は482,046千円、達成率96%
- ② 人間ドック（13,062名）、健康診断等（12,002）名、合計約25,064名の受診者を受入れました。
- ③ 琉球大学病院産婦人科のご協力により、引き続き、月曜日の午前、火曜日の午後、婦人科検診を実施する事が出来ました。
- ④ 胃、大腸カメラ担当医師、子宮がん検診担当医師のご協力について。

胃、大腸カメラ担当医師、子宮がん検診担当医師の退職がありましたが、会員並びに琉球大学病院にご支援を頂き計画通りの検査を進めることができました。誠にありがとうございました。令和5年度も引き続きご支援の程、よろしくお願い致します。

○胃、大腸内視鏡ご協力医師

郷克己先生（中部徳洲会病院）/玉城政弘先生（たまきクリニック）/松嶋顕介先生（まつしまクリニック）/祝嶺千明先生（しゅくみね内科）/普久原朝史先生（ちばなクリニック）/増田祥子先生（愛聖クリニック）/町田宏（まちだクリニック）

○子宮がん検診ご協力医師

古堅善亮先生（古堅ウィメンズクリニック）/上村悟先生（うえむら病院）

- ⑤ 各市町村から特定健診及びがん検診（結核・肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診）の同日実施の受診勧奨を行い受診者増に繋げました。
- ⑥ オプション検査の充実について

オプション検査等の令和4年度予算達成率85%となりました。当センターのドック受診者の7割は協会けんぽ（労働安全衛生法）となります。基本項目は会社負担での実施がほとんどですが、各会社、オプション検査等は自己負担での受診となります。受診者本人が個人負担金を出してでも受診したいと思わせるオプション検査項目を検討した結果、令和5年度より、腫瘍マーカー（CA125、CA19-9、CEA、AEP）と*腸内フローラ検査を実施します。引き続きオプション検査項目の充実に努めます。

*腸内フローラ検査（検便にて腸内細菌のバランスを調べ、腸内細菌の総合評価、菌の保有率、改善アドバイスを行う。

⑨胃部内視鏡検査提供体制の強化について

胃部内視鏡検査を希望する受診者が多いことから、令和4年度、内視鏡室の改装（3診体制）、リカバリー室の構築、スタッフ増員を行い、令和5年5月より本格稼働することができました。今後は、その設備や人材を最大限に活かし受診者の要望に応えられるよう取り組んでまいります。

3) 特定健診等代行入力事業【電算課】

会員（74施設）・他地区会員（11施設）より、請求事務処理代行（検査含む）の委託を受けて実施しました。

4) 企業健診事業【健康企画課 営業係】

法定健診や健康相談（ストレスチェック等）の充実・拡大を図ると共に、企業へ健診後の支援として、労災二次健康診断の案内や地域産業保健センターとのタイアップによる保健指導、健康相談、健康教育など、トータル的な健康教育機能を充実させ収入の増加を図りました。

① 新規開拓6件

② 地域産業保健センターとの連携

健康管理相談（労災二次健康診断含む）	119回	訪問産業保健指導	12回
医師の意見書	75社	長時間労働者面接指導	1回

5) 各種がん検診個別事業【健康企画課 検診係】

管内9市町村と他7市町村（恩納村、金武町、宜野座村、東村、名護市、本部町、伊江村）より委託を受け、乳がん検診（マンモ検査、乳エコー）、子宮がん検診を実施医療機関30施設（会員21施設、会員外9施設）の協力のもと行いました。

また、浦添市の子宮がん検診については、浦添市医師会より委託を受け行いました。乳がん検診（マンモ検査）は、本会所有のマンモ検診車を会員施設に配置（10施設）して頂き受診者増に取り組みました。子宮がん検診は、平成25年度から県内で初めて液状化検体細胞診（LBC法）を導入し精度の高い検診を実施しており受診者増に努めております。また、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診は平成23年度より金武町が「個別がん検診」を実施しておりますが、平成28年度から沖縄市、平成29年度から北谷町、平成30年度から中城村、伊江村、令和元年度から、うるま市、北中城村、令和2年度から東村、令和3年度より恩納村でも「個別がん検診」を実施し、実施医療機関27施設（会員21施設、会員外6施設）の協力のもと継続的に受診率向上対策に取り組みました。

6) 特定保健指導事業【健康推進課 保健指導係】

例年と異なり特定保健指導実施人数が約100名減となり、収入についてとても厳しい年度となりました。特定保健指導対象となる比率も下がったことにより、対象となった方のニーズに寄り添うよう努め、そしていかに収入につなげていくか模索する時期が何度もありました。

年度末に行いました独自の保健指導調査内容については、人間ドック受診者の若年時（特定保健指導対象外の年齢）に焦点を当てたメタボリックシンドロームリスクについて調査し、介入時期やアプローチの方法に関してのヒントや課題も見えてきました。

今後は、労働者対象の産業保健分野保健指導と地域住民対象（40歳以上）の特定保健指導との連携を視野に入れて、アウトカム評価が重視される第4期（令和6年度～）に向けて取り組んでまいります。

【実績】

特定保健指導実施人数 合計：2,019名（前年度 2,379名）

積極的支援 : 950名(前年度 1,190名)

動機付け支援:1,016名(前年度 1,141名)

【その他】

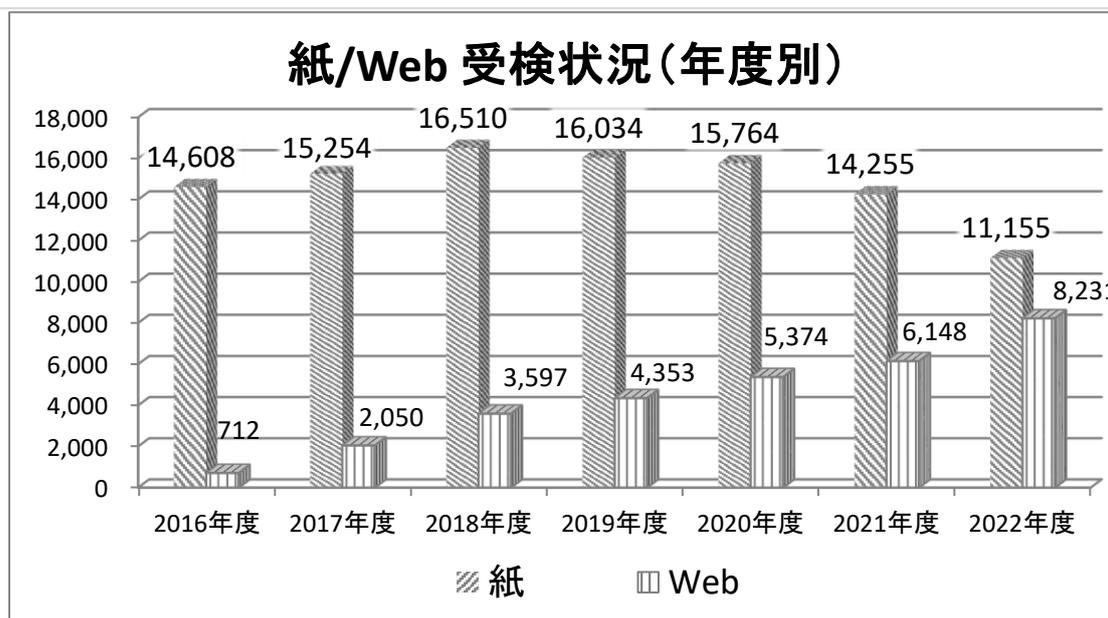
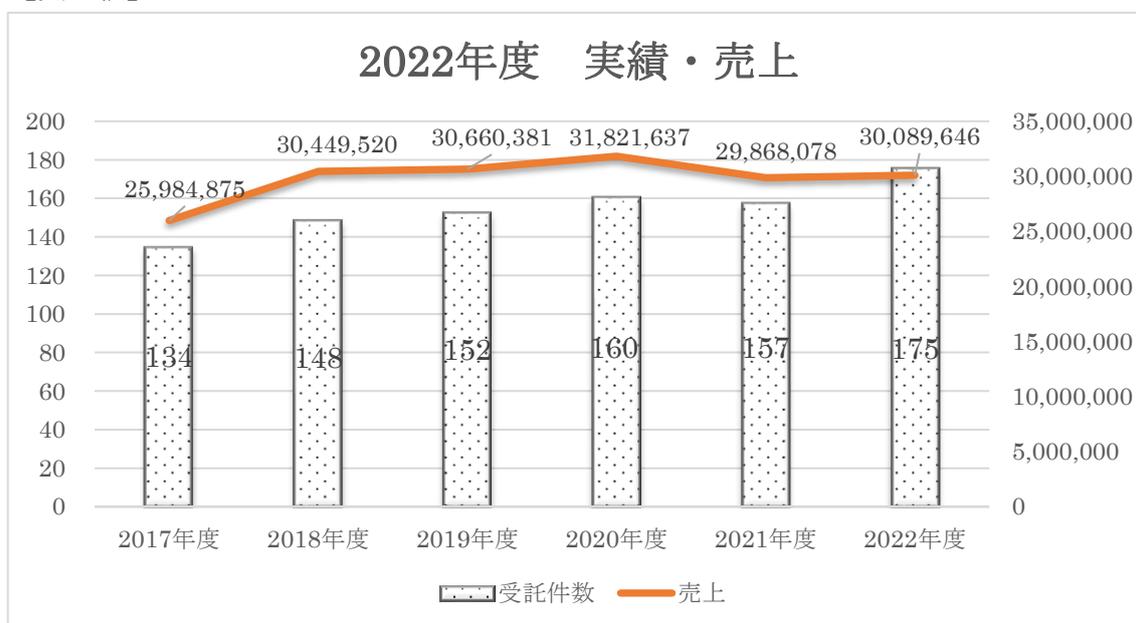
沖縄県立看護大学保健看護専門職養成実習:11/7~11/17

中部地区地域産業保健センター健康相談実施人数 276名(前年度 608名)

7) ストレスチェック事業【健康推進課 ストレスチェック係】

働く人のメンタルヘルス対策が労働安全衛生の観点からも重要視されており、ストレスチェック制度の義務とされている50名以上の事業場だけでなく、50名未満の事業所の受託も増え、受託件数は年々増加しています。SDGsの観点よりペーパーレス化を進め、Web受検を推奨しており、Web受検での実施率も年々増加しています。県内でストレスチェックの集団分析報告会を実施しているのは中部地区医師会だけであり、一連のサービスに契約事業所側より好評価をいただいています。今後も、契約事業所の満足度につながるサービスの提供に努めていきます。

【実績】



8. 地域保健推進事業について（その他事業4）

本事業は小児や児童生徒、高齢者の感染症予防のため、本会が実施主体となり会員施設での個別予防接種並びに婦人科個別検診、更に学校医配置業務について行うもので、実施にあたって各種情報提供、相談業務を行いました。

1) 予防接種事業（担当理事：石川 理事）（副担当：渡慶次 理事）

- ① 個別予防接種受諾施設の取り纏めを行い、市町村との委託契約を行いました。
- ② 個別予防接種県内相互乗入れについて、各地区医師会と調整を行いました。
- ③ 医療機関での個別予防接種が円滑に行えるよう実施マニュアルを作成しました。

2) 婦人科個別検診代行入力事業（担当理事：松嶋 副会長）（副担当：末永 副会長）

市町村と中部地区医師会とで委託契約を交わし、会員施設での検診が円滑にすすむよう実施要項を作成し各種情報提供等を行いました。

3) 学校医による学校定期健康診断医師配置及び事務代行業業

（担当理事：石川 理事）（副担当：古堅 理事）

学校医の負担軽減を図るため管内の教育委員会及び沖縄県教育庁、一部私立学校と学校健診について委託契約を行うと共に、健診協力医の配置を行いました。また、会員施設から帯同看護師の派遣依頼があり検診センターから看護師を派遣しました。

① 学校定期健康診断の委託契約

管内小学校・中学校・高等学校・養護学校など 119 校へ校医（110 名）・健診協力医（55 名）を配置し学校定期健康診断を各市町村教育委員会及び県教育庁等と委託契約を行いました。

② 学校健診帯同看護師の配置

中原小学校	5/24、5/25、5/26、5/27
宜野湾小学校	5/26、5/31
浜川小学校	5/12、5/26
真志喜中学校	4/13、4/27、5/11
高江洲中学校	5/18
中部農林高校	4/14
具志川商業高校	4/11、4/12、4/15、4/19、4/25、4/26、5/17
北中城小学校	6/3

9. 医師会事業の健全運営、運営強化に向けての将来構想について

（担当 松嶋 副会長、今井 副会長、末永 副会長）

中部地区医師会では、昭和 63 年に中部地区医師会館を建設以来、検診センター・訪問看護・介護・居宅事業、看護学校、中部システムサポート、検診センター八重山出張所・中部スタッフサポート・看護小規模多機能型居宅介護と事業を拡大してまいりましたが、令和 4 年度は「各種医師会事業の将来を見据えた業務の効率化、社会状況に沿った体制を構築すべく、「中部地区医師会将来構想委員会」を設置し、下記の事について協議・改善を実施いたしました。

1) 医師会事業の業務の効率化に向けての見直し

各種医師会事業における効率化を目的に統括本部を設置し、これまで医師会事務局・医師会検診センター・医師会訪問看護ステーション・ぐしかわ看護専門学校と分かれていた会計部門を一つに統合し（統括本部経理課）、加えて会計システムを導入することにより経理業務のコスト削減を図りました。また、統括本部に人事課・企画課を設置し、医師会4事業において、職員の異動による組織再編、ならびに勤怠管理・社用車管理・決済管理をシステム化することで、職員の働きやすい職場環境を整備いたしました。検診センター基幹システムについても、基礎設計の古さから新システムへの入れ替えが必要となっており、その一環として、沖縄県のDX推進事業による補助金を利用した、検診センター施設内検診予約システムの改修によるリマインド機能によって、施設内検診（人間ドック・健康診断）のキャンセル率が減少し、収益アップに繋がりました。

2) 給与体系、退職金制度の見直し

医師会職員の定年退職に伴う新規採用が必要になって来ることから、医師会統括本部に人事課を設置し、時代に即した職員採用、退職給与規定の見直し、改定を進めました。

3) 新中部地区医師会館建設に向けての準備事業

昭和63年に建設された中部地区医師会館も令和4年度で築34年を経過し、事業拡大に伴う建物のキャパシティの問題、老朽化による建物の破損や空調、電気、水道等の設備に加え、内装物の取替等が発生しており、新たな医師会館（検診センター）の建設に向け、医師会施行部役員を担当とし、令和4年度より新会館建設準備委員会を設置するとともに、医師会職員により発足した「将来構想プロジェクト」にて、愛知県半田市医師会の新健診センターの視察を行いました。今後も視察等を行い、会員の先生方のご意見も伺いながら新医師会館建設に向けて検討を進めてまいります。

4) 中部スタッフサポートにおける事業承継、新規開業のサポート

中部スタッフサポートにおいて実施しておりました、中部地区医師会管内での新規開業予定者に対する「新規開業支援及びクリニック継承支援事業」については、中部スタッフサポートの事業縮小に伴い、現在休止しておりますが、医師会統括本部・医師会事務局にて継続できるよう検討を続けてまいります。